

令和５年度
地域福祉に関するアンケート調査結果
【市民】

令和６年２月

高知市健康福祉部地域共生社会推進課

目 次

1. アンケート調査の概要	1
2. 回答者の概要	1
3. 孤独について	3
4. ご近所付き合いについて	4
5. 地域の支え合い・助け合いの必要性について	6
6. 地域における助け合いの状況	6
7. 困りごとを抱えている人への支援について	7
8. 暮らしの困りごと	10
9. 地域の課題	14
10. 地域活動	16
11. 集いの場に関すること	22
12. 高知市社会福祉協議会について	23
13. 自由意見（抜粋）	24
14. アンケート調査票	43

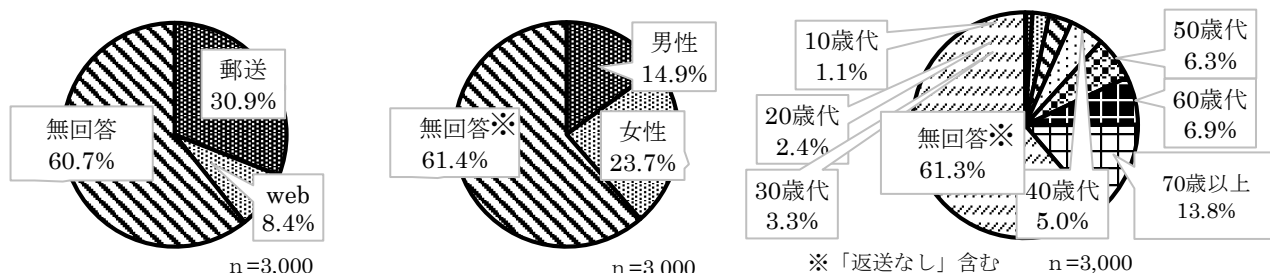
1 アンケート調査の概要（【資料編】P 2）

- (1) 調査期間：令和5年9月27日(水)～10月24日(火)
- (2) 調査対象：16歳以上の高知市民
- (3) 調査人数：3,000人(無作為抽出)
- (4) 調査方法：調査票を自宅に郵送し、郵送またはWebで回答
- (5) 回答者数：1,178人／3,000人（回答率：39.3%(前回：44.8%)）

2. 回答者の概要（【資料編】P 3～P 4）

(1) 前回との比較

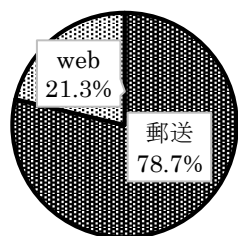
- ① 全体の回答率は、5.5ポイント減。
- ② 年齢別の回答率は、50歳代がほぼ横ばい。その他の世代は下がった。
- ③ 三里地域の回答率が大きく下がった(▲18.7ポイント)。
- ④ 今回から10歳代(16歳以上)を調査対象に加えた(回答率25.4%)。
- ⑤ 今回からWebによる回答を受けつけた(全体の8.4%，251人がWebで回答)。



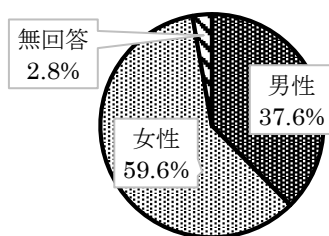
項 目		R 5							H30
		対象数	回答数	web	郵送	回答率			回答率
合 計		3,000	1,178	251	927	39.3%	8.4%	30.9%	44.7%
性 別	男性	1,382	443	104	339	32.1%	7.5%	24.5%	
	女性	1,618	702	140	562	43.4%	8.7%	34.7%	
	無回答等		33	7	26				
年 齢	10歳代	126	32	19	13	25.4%	15.1%	10.3%	
	20歳代	303	72	42	30	23.8%	13.9%	9.9%	26.7%
	30歳代	330	98	36	62	29.7%	10.9%	18.8%	34.9%
	40歳代	481	150	66	84	31.2%	13.7%	17.5%	41.3%
	50歳代	489	189	48	141	38.7%	9.8%	28.8%	38.4%
	60歳代	429	207	30	177	48.3%	7.0%	41.3%	53.0%
	70歳以上	842	413	10	403	49.0%	1.2%	47.9%	56.3%
無回答			17	0	17				
日 常 生 活 圏 域	上街・高知街・小高坂	171	88	20	68	51.5%	11.7%	39.8%	57.1%
	南街・北街・江ノ口	230	79	16	63	34.3%	7.0%	27.4%	45.3%
	下知・五台山・高須	291	119	28	91	40.9%	9.6%	31.3%	38.2%
	旭街	312	107	24	83	34.3%	7.7%	26.6%	44.1%
	潮江	247	80	18	62	32.4%	7.3%	25.1%	37.4%
	三里	107	31	5	26	29.0%	4.7%	24.3%	47.7%
	布師田・一宮	241	96	25	71	39.8%	10.4%	29.5%	46.9%
	秦・土佐山	155	59	13	46	38.1%	8.4%	29.7%	42.3%
	初月・鏡	152	56	11	45	36.8%	7.2%	29.6%	49.7%
	朝倉	258	101	30	71	39.1%	11.6%	27.5%	43.2%
	鴨田	242	94	16	78	38.8%	6.6%	32.2%	40.3%
	長浜・御畳瀬・浦戸	247	101	14	87	40.9%	5.7%	35.2%	46.1%
	大津・介良	212	82	22	60	38.7%	10.4%	28.3%	38.6%
	春野	135	56	8	48	41.5%	5.9%	35.6%	49.3%
	無回答		29	1	28				

(2) 回答者 1,178 人の構成比

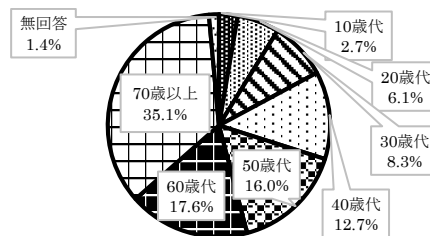
- ① 回答者のうち 21.3% が Web で回答。
- ② 回答者の約 6 割が女性。
- ③ 年齢が上がるほど構成比が高い。
- ④ 日常圏域別では、三里の構成比が低い。



n=1,178



n=1,178



n=1,178

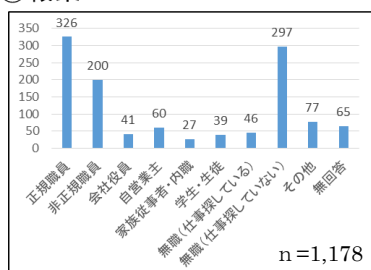
(3) 回答者の基礎情報

- ① 職業： 無職が多いのは高齢者の回答者が多いためと考えられる。次回の調査では、「年金生活」の項目を追加することの検討が必要。）

正規職員 326 人、非正規職員 200 人であり、雇用者のうち、正規は 62.0%，非正規は 38.0% となる。総務省「労働力調査／2022 年」の結果では、正規 63.1%，非正規 36.9% となっており、全国の状況とほぼ同じ傾向である。

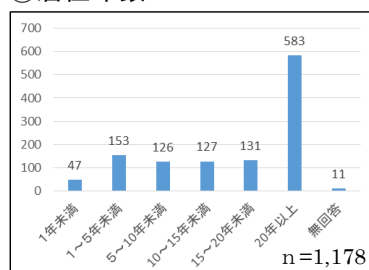
- ② 居住年数： 圧倒的に 20 年以上と答えた人が多かった。
- ③ 住居形態： 圧倒的に持ち家（一戸建て）と答えた人が多かった。
- ④ 世帯状況： 二世帯同居（子と同居）が最も多く、次いで、夫婦のみ、単身となっている。全体の 19.2% が単身者。
- ⑤ 同居家族： いずれもないが最も多く、次いで、65 歳以上の方がいる、高校生以下の子どもがいてなる。30.2% の人の同居家族に 65 歳以上の高齢者がいるという結果となった。
- ⑥ 暮らし向き： 普通が最も多く、次いで、やや苦しい、大変苦しいの順。

①職業



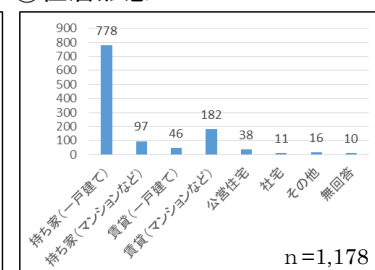
n=1,178

②居住年数



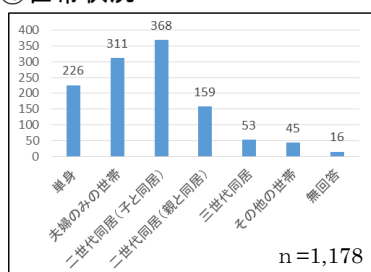
n=1,178

③住居形態



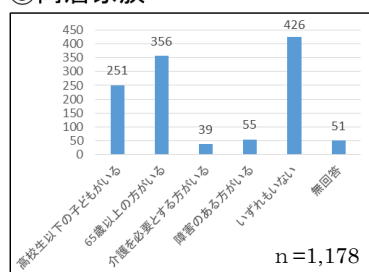
n=1,178

④世帯状況



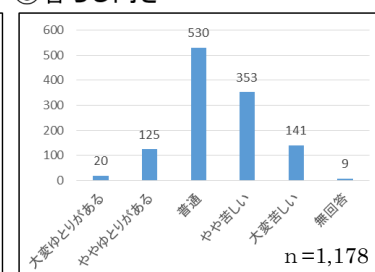
n=1,178

⑤同居家族（複数回答）



n=1,178

⑥暮らし向き



n=1,178

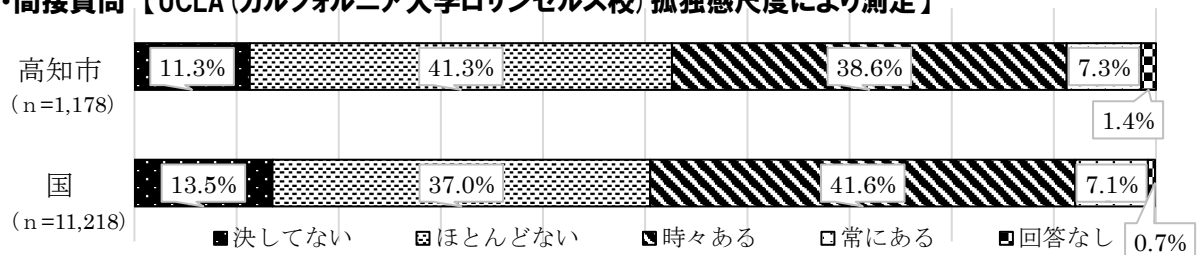
3. 孤独について(【資料編】P5～P11)

(1) 孤独感が「しばしばある、常にある」と回答した人の割合

・直接質問【問13 あなたは、どの程度、孤独であると感じることがありますか。】



・間接質問【UCLA (カルフォルニア大学ロサンゼルス校) 孤独感尺度により測定】



問10 【自分には人とのつき合いがないと感じることがありますか。】

問11 【自分は取り残されていると感じることがありますか。】

問12 【自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。】

の3つの設問を「①決してない ②ほとんどない ③時々ある ④常にある」の4択で答えてもらい点数化。

① 全体の割合は、国の状況と同傾向。

(直接質問「しばしばある・常にある」と回答した人の割合

: 高知市 4.8%, 国 4.9%)

(間接質問「常にある」と回答した人の割合: 高知市 7.3%, 国 7.1%)

② 男女別では、国と比べて女性の比率が低く、男性の比率が高い。

(女性: 高知市 4.3%, 国 4.6%, 男性: 高知市 5.5%, 国 5.1%)

③ 年齢別では、

・国と同様に30歳代の割合が高い(高知市 9.3%, 国 7.2%)。

・高知市では10歳代が最も高い(高知市 9.4% (3人/32人), 国 5.2%)。

④ 男女年齢別の傾向は、

・国の調査では、最も高いのが30歳代女性(7.9%), 次いで50歳代男性(7.3%)だが、高知市では、10歳代女性 15.8%, 30歳代女性 11.5%, 40歳代男性 10.0%であり、一部の層の孤独感が国より大きく高い。

(最も高い10歳代女性は、3人/19人)

⑤ 世帯構成別では、単身世帯が最も高い(10.7%)。

単身世帯の男女・年齢別では、30歳代女性が最も高い。(50.0% (3人/6人))

⑥ 経済的な暮らし向きが「(大変)苦しい」と答えた人の孤独感が高い。

⑦ これまで経験してきた出来事【問 14 あなたがこれまでに経験した出来事をお答えください（複数回答）。】と孤独感との関係

（これまでに経験した出来事と孤独感とのクロス集計）

- ・以下の出来事を経験している人が、「しばしばある，常にある」「たまにある」「時々ある」と回答した人（孤独を感じる頻度が比較的高い人）の割合が高く，家族関係や知人の変化（死別・離別・病気等）よりも，自身に直接に起こったトラブル等が孤独感を強めている結果となっている（参考：国は「家族との死別」）。

○人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等） 61.3%

○仕事上（職場）の重大なトラブル 54.9%

○その他の出来事 53.9%

（その他の内訳は，施設入所，恋愛，知人との離別，戦争など）

○金銭による重大なトラブル 53.7%

○生活困窮・貧困 51.9%

○失業・休職・退学・休学（中退・不登校を含む） 50.2%

○家族間の重大なトラブル（家庭内別居・DV・虐待等） 50.0%

⑧ 孤独感に強い影響を与えた出来事

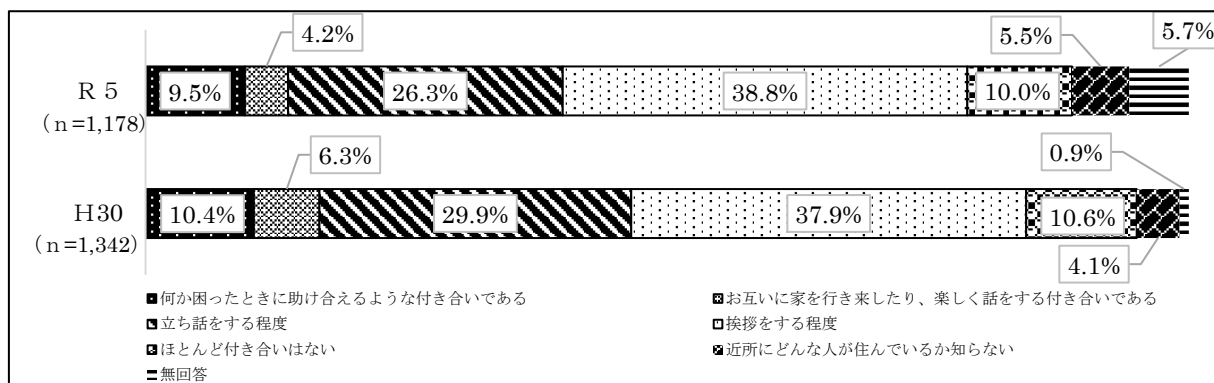
【問 15 現在の孤独感（問 13 で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。影響の強い順番に記入してください（3 つまで回答）。】

- ・無回答が多かった（1 位が無回答なのは 488 人，41.4%）。
- ・「決してない・ほとんどない」グループと「しばしばある・常にある，たまにある，時々ある」グループとを比較すると，孤独感がある側に傾いた出来事は，「人間関係による重大なトラブル」「その他」「失業・休職・退学・休学」「仕事上（職場）の重大なトラブル」などとなっており，⑥のクロス集計の結果とリンクする。

4. ご近所付き合いについて（【資料編】P12～P15）

(1) ご近所付き合いの程度

【問 16 あなたはご近所の方々とどの程度のお付き合いをしていますか。】



- ① 「挨拶をする程度」または「立ち話をする程度」と答えた人が、全体の 65.1% で、「ほとんど付き合いはない」または「近所にどんな人が住んでいるか知らない」と答えた人は、全体の 15.5% となっており、8 割強の人は、深いご近所付き合いをしていないという結果となった。
- ② 前回調査時から、さらに希薄化が進んでいる結果となった。
 - ・「何か困ったときに助け合えるような付き合いである」：▲0.9 ポイント
 - ・「お互いに家を行き来したり、楽しく話をする付き合いである」：▲2.1 ポイント
 - ・「近所にどんな人が住んでいるか知らない」：+1.4 ポイント
- ③ 男女別では、女性が男性より、「何か困ったときに助け合えるような付き合いである」と答えた人の割合が、2.6 ポイント高い。
- ④ 年齢別では、「何か困ったときに助け合えるような付き合いである」と答えた割合が高かったのは、75 歳以上の後期高齢者(18.9%)、40 歳代(10.0%)となった(40 歳代は PTA 等の活動によるつながりの可能性あり)。
- ⑤ 日常圏域別
 - ・「何か困ったときに助け合えるような付き合いである」と答えた割合
 - 秦・土佐山 14.5%，○長浜・御豊瀬・浦戸 14.1%，○初月・鏡，朝倉 13.5%
 - 南街・北街・江ノ口 2.7%，○三里 3.6%，○潮江 5.4%
 - ・「ほとんど付き合いはない」「近所にどんな人が住んでいるか知らない」と答えた割合の合計
 - 上街・高知街・小高坂 27.9%，○下知・五台山・高須 25.9%
- ⑥ 持ち家・賃貸にかかわらず、一戸建てに居住している人の方が、マンションやアパートに居住している人よりご近所付き合いの程度が深い。また、日常的に関係性のある社宅に住んでいる人は、「何か困ったときに助け合えるような付き合いである」と答えた割合が高い。
 - ・「何か困ったときに助け合えるような付き合いである」と答えた割合
 - 持ち家(一戸建て)11.7% ○民間賃貸住宅(一戸建て)10.9% ○社宅 20.0%
 - 持ち家(マンションなどの集合住宅)1.4%
 - 民間賃貸住宅(マンションやアパートなどの集合住宅)1.9%

(2) ご近所付き合いの程度と孤独感との関係

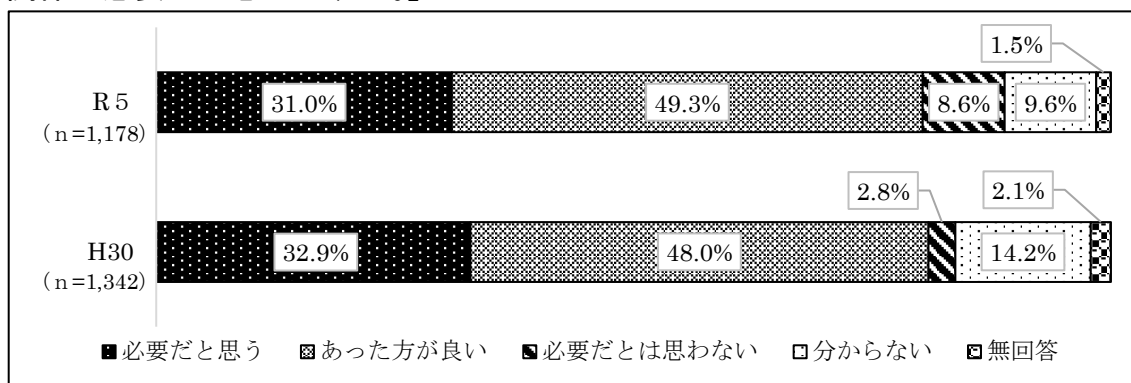
- ① ご近所付き合いが深いほど、孤独感を感じにくい結果となっている。

5. 地域の支え合い・助け合いの必要性について（【資料編】 P 16～ P 17）

(1) 地域の支え合い・助け合いへの考え方

【問 17 あなたは「生活の困りごと」に対し、住民が支え合い、助け合う関係が必要だと思いますか。】

指標

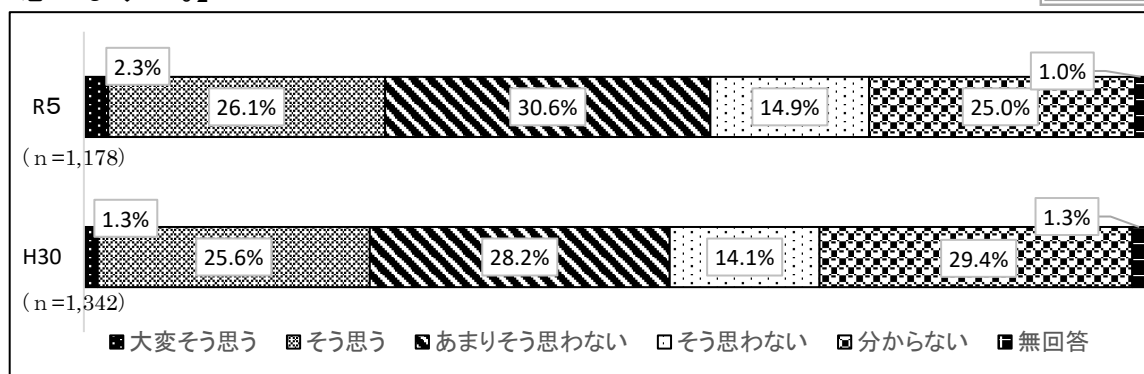


- ① 全体の8割程度の方は、「必要だと思う」「あった方がよい」のどちらかと回答している。
- ② 前回と比べて、「必要だとは思わない」の割合が大きく増加した(+5.8%)。
- ③ 年齢別で、「必要だと思う」と答えた割合が高かったのは、
 - ・75歳以上 40.4%，70～74歳 34.5%，60～64歳 31.6%，65～69歳 30.4%。
 - ・また，20歳代 29.2%，10歳代 28.1%は，30歳代から50歳代までよりも高い。
- ④ 年齢別で、「必要だとは思わない」と答えた割合が高かったのは，
 - ・10歳代 21.9%，30歳代 19.4%，20歳代 18.1%の若者層である。

6. 地域における助け合いの状況（【資料編】 P 18～ P 19）

【問 18 あなたのお住まいの地域では，お互いに助け合いができていますか。】

指標



(1) 「大変そう思う」「そう思う」と回答した人の割合

- ① 「大変そう思う」2.3%，「そう思う」26.1%であり，全体の3割程度が助け合いができていますと答えている。

② 前回と比べて、「大変そう思う」が+1.0ポイント、「そう思う」が+0.5ポイントと微増。

また、「分からない」が▲4.4ポイントとなっている。

③ 年齢別では、10歳代が最も高い。(40.6%)

④ 日常圏域別では、基本的に、市街地が低く、周辺地域が高い傾向。

○上街・高知街・小高坂 23.9%，南街・北街・江ノ口 24.1%，下知・五台山・高須 20.1%

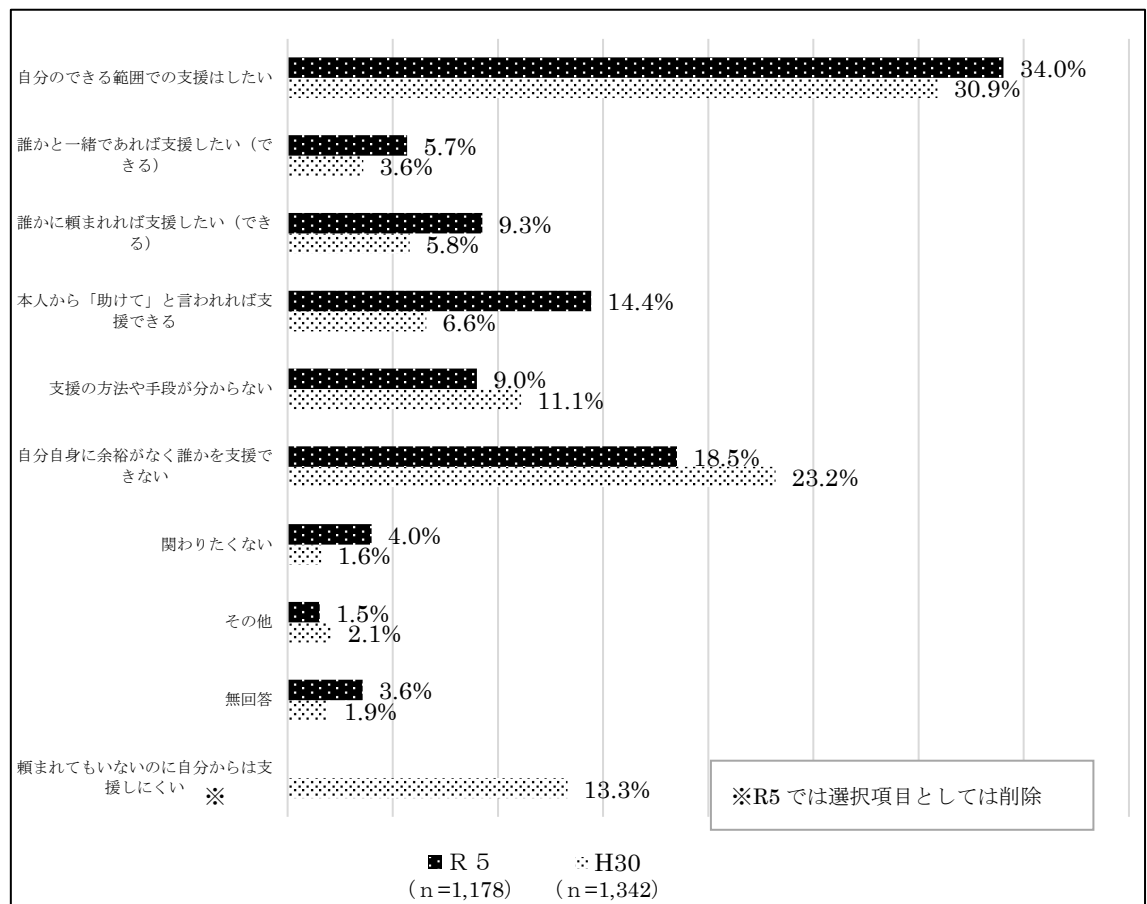
○春野 41.1%，朝倉 35.7%，鴨田 34.1%，布師田・一宮 33.4%

例外として、三里 22.6%，大津・介良 23.2%は低かった。潮江，三里は，全圏域の中で「大変そう思う」と答えた人がいなかった。

7. 困りごとを抱えている人への支援について(【資料編】P20～P23)

(1) 困っている人を支援することに対する考え方

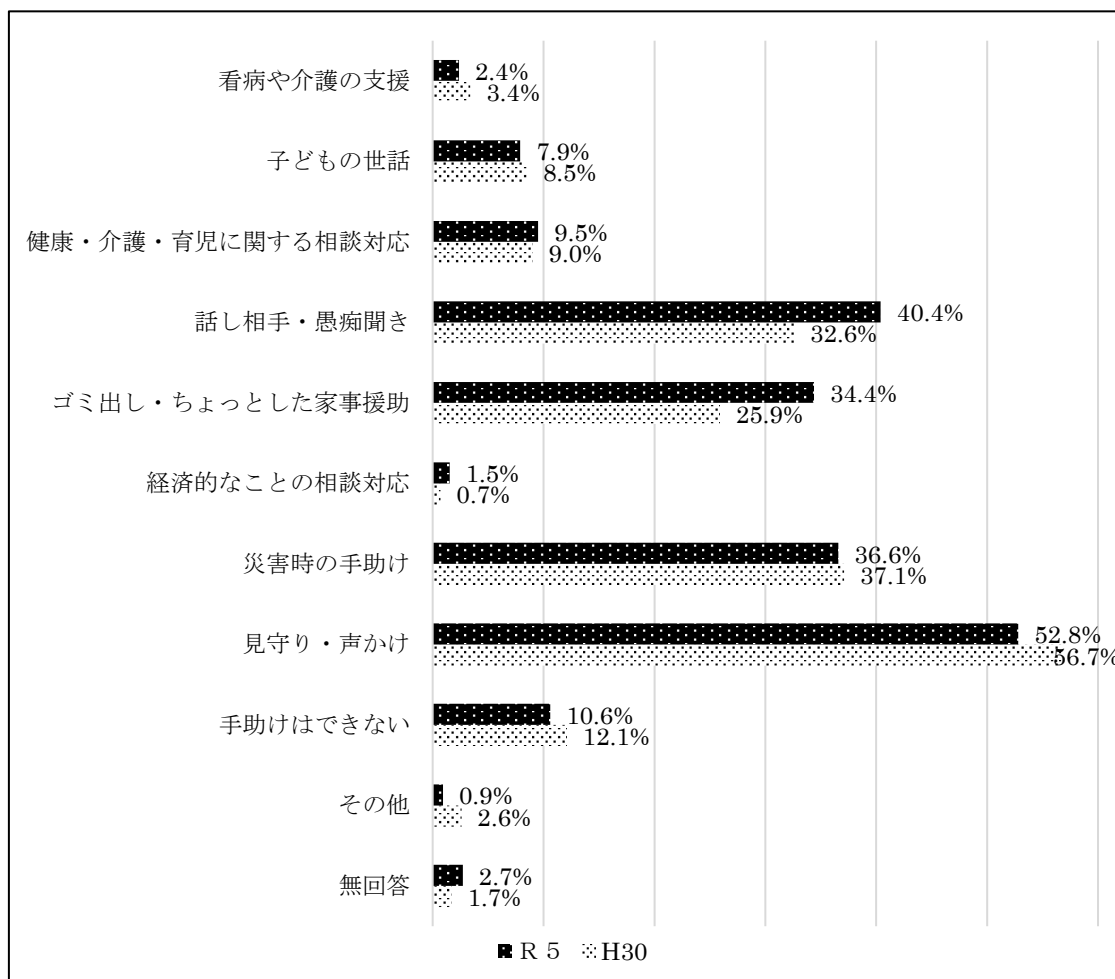
【問19 あなたは、近所で「生活の困りごと」の支援を必要としている人がいたら、その人を支援することについてどう思いますか。】



- ① 最も多かった回答は、「自分のできる範囲での支援はしたい」(34.0%)。
- ② 「支援したい(できる)」と答えた人の合計は63.4%であり、前問で「地域における助け合いができていると思う(「大変そう思う」「そう思う」)」と答えた人(28.4%)の2倍以上となっている。これは、「支援はしたい(できる)」のに、「助け合いができているとは思っていない」人が多いということであり、助け合いの仕組みづくり、生活支援ボランティア等の担い手確保には大きく伸びしろがあると考えられる。
- ③ 一方、「関わりたくない」と答えた人は、4.0%と少数だが、前回と比べると2.4ポイント増加している。
- ④ 「支援したい(できる)」と答えた割合が最も高かったのは、20歳代(72.2%)、次いで、60～64歳(70.6%)と65～69歳(70.6%)となっている。その次に10歳代が高かった(68.8%)が、10歳代は、「支援の方法や手段が分からない」と答えた割合が最も多かった(18.8%)ため、地域とのつなぎ等をする事により、「支援したい」と考える人が増える可能性が高い。
- ⑤ 70歳以上は、「支援したい(できる)」と答えた人の割合が他の年齢層より低く、「自分自身に余裕がなく誰かを支援できない」と答えた人の割合が高い。

(2) 近所の人困ったときに手助けできること

【問 20 あなたの近所の人で、「生活の困りごと」で手助けが必要になった時、どんなことであれば手助けできますか。(複数回答)】

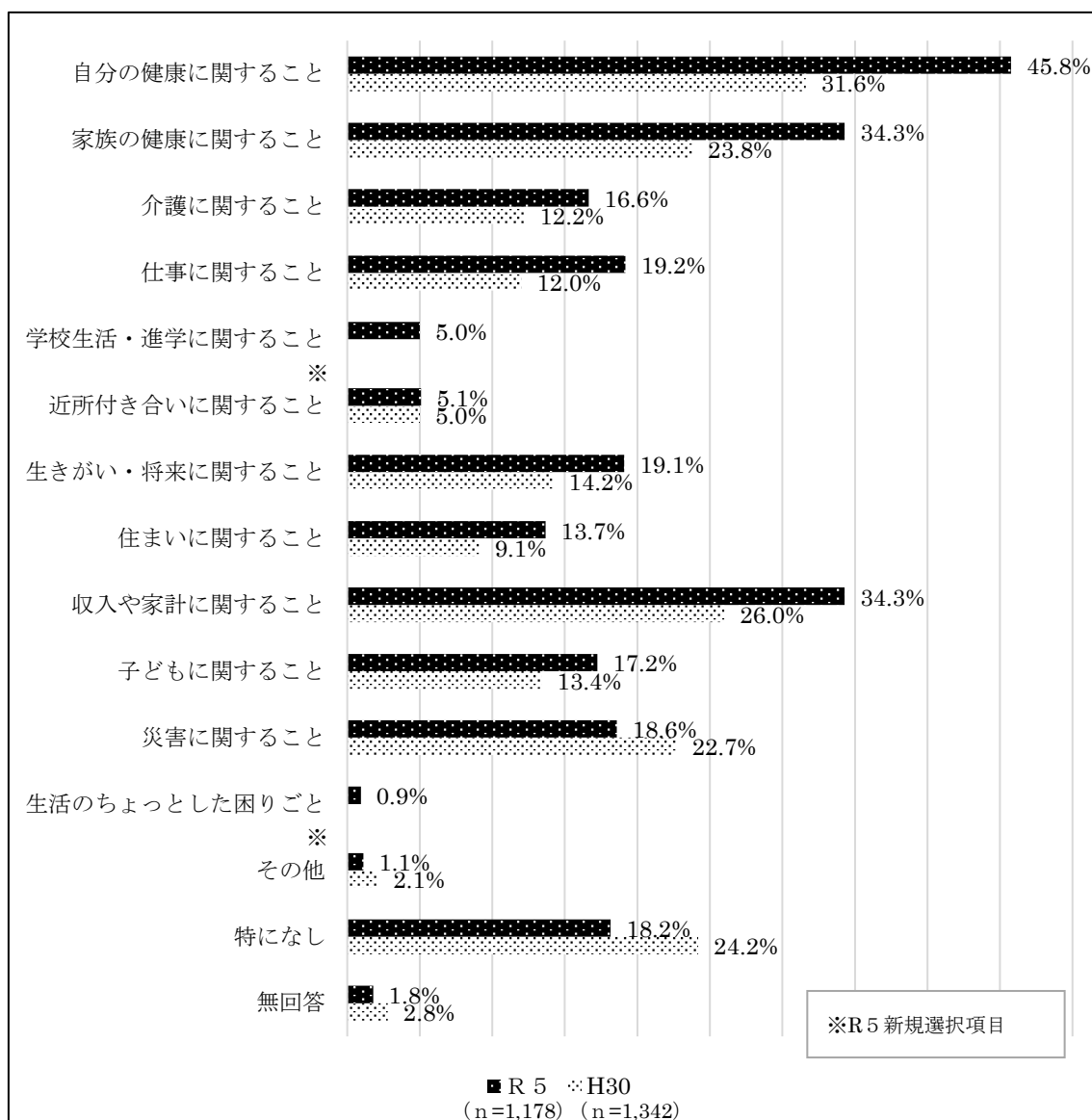


- ① 「見守り・声かけ」は半数以上の人ができると回答（52.8%）。
- ② その他で回答者が多かったのは、「話し相手・愚痴聞き」（40.4%）,「災害時の手助け」（36.6%）,「ゴミ出し・ちょっとした家事援助」（34.4%）。
- ③ 「看病や介護の支援」「子どもの世話」^(n=1,178)「健康・介護・育児に関する相談対応」^(n=1,342)
「経済的なことの相談対応」と答えた人は1割未満であり、家庭内のデリケートなことや専門的知識が必要なことに関する助け合いには、ハードルの高さを感じている人が多い。
- ④ 「手助けはできない（10.6%）」と回答した割合は前回より1.5ポイント減少。
- ⑤ 男女別では、「看病や介護の支援」「子どもの世話」「健康・介護・育児に関する相談対応」「話し相手・愚痴聞き」「見守り・声かけ」など、ほとんどの項目が女性の方ができると答えた割合が高かったが、「ゴミ出し・ちょっとした家事援助」「災害時の手助け」は男性の方が高かった。特に、「災害時の手助け」は、男性が女性より16.4ポイントも高かった。
- ⑥ 年齢別の状況
 - ・「子どもの世話」は、子どもに関わる機会が多いと思われる10歳代から40歳代までの世代が、「できる」と答えた人の割合が高い（特に10歳代と20歳代）。
 - ・「災害時の手助け」は、20歳代から64歳までの体力的に充実していると思われる世代が、できると答えた割合が高い。
 - ・75歳以上の方は、基本的に支援できると答えた人が他の世代より少ないが、話し相手・愚痴聞きができると答えた人の割合は、世代別で2番目に高かった（43.8%）。最も高かったのは10歳代（59.4%）。
 - ・10歳代は、「話し相手・愚痴聞き（59.4%）」と「子どもの世話（25.0%）」以外の項目をできると答えた割合が他の世代より低く、前問の「支援の方法や手段が分からない」の回答が多かったこととリンクしている。

8. 暮らしの困りごと（【資料編】P24～P30）

(1) 自分が困っていること

【問21 あなた自身は、ふだんの暮らしの中でどのような困りごと（不安や悩みを含む）がありますか。（複数回答）】



- ① 「自分の健康に関すること」(45.8%)、「家族の健康に関すること」(34.3%)、「収入や家計に関すること」(34.3%)と答えた人の割合が高い（前回と同様の傾向）。
- ② 前回と比べて、「災害に関すること」「特になし」と答えた人の割合がそれぞれ4.1ポイント、6.0ポイント減り、その他の全ての項目が増加しており、明らかに困りごとを抱えている人が増えていることが分かる。
- ③ 年齢別の状況

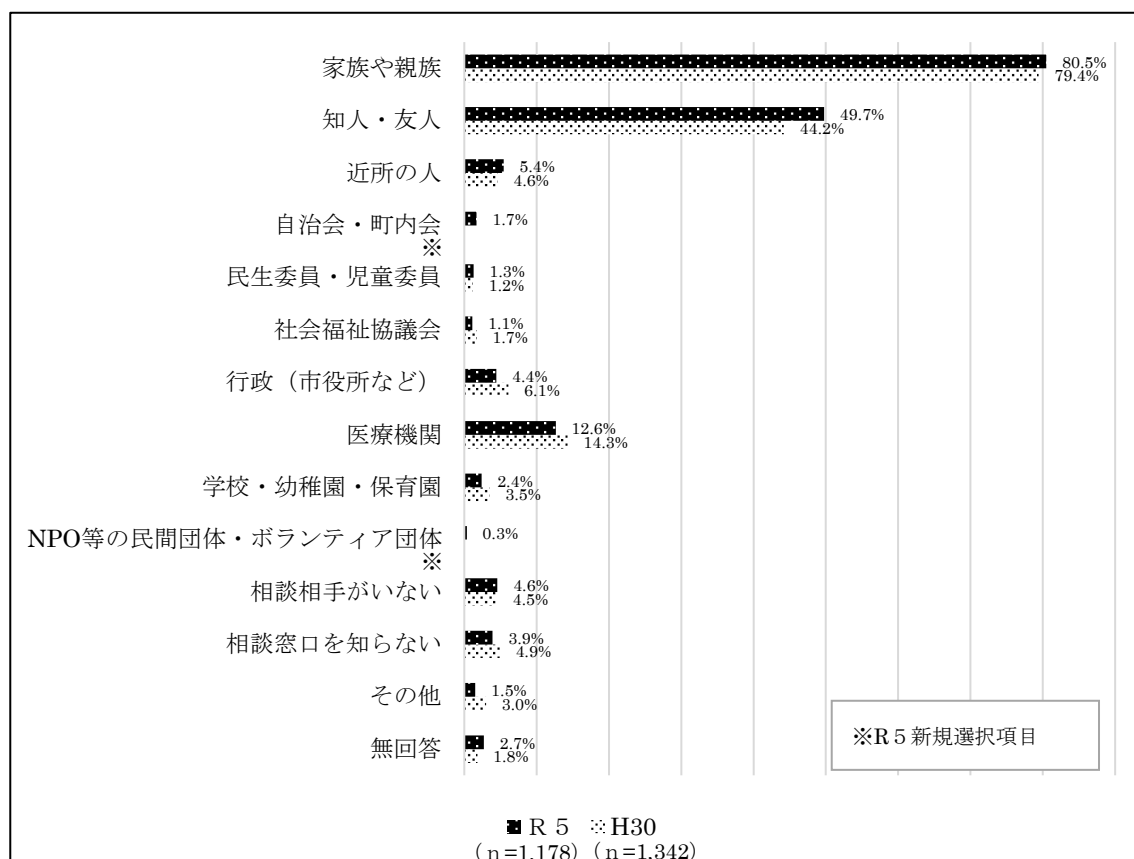
- ・10 歳代は困りごとが少ない傾向。親が高齢者の世代（50 歳代）は「家族の健康に関すること」や「介護に関すること」、現役世代（子育て世代）は、「子どもに関すること」、「仕事に関すること」、「収入や家計に関すること」などに困っていると答えた人の割合が高い。
- ・「自分の健康に関すること」と答えた人の割合は、高齢になるほど高い。
- ・「家族の健康に関すること」と答えた人の割合は、親が高齢者の 30 歳代から 64 歳までの世代と配偶者が高齢者の場合が多い 75 歳以上が高い。
- ・「介護に関すること」と答えた人の割合は、実際に介護に直面していると思われる世代である 50 歳代と 75 歳以上が高い。
- ・「仕事に関すること」と答えた人の割合は、20 歳代から 50 歳代までの現役世代が高い。
- ・「学校生活・進学に関すること」と答えた人の割合は、圧倒的に 10 歳代が高い（46.9%）。
- ・「生きがい・将来に関すること」と答えた人の割合は、若い世代（10 歳代と 20 歳代）が高い。
- ・「収入や家計に関すること」と答えた人の割合は、20 歳代から 50 歳代までが高い。
- ・「子どもに関すること」と答えた人の割合は、30 歳代（40.8%）と 40 歳代（38.0%）が高い。

④ 世帯構成別の状況

- ・単身者は困りごとが少ない傾向（「特になし」20.8%）だが、「介護に関すること」「災害に関すること」と答えた人の割合は、他の世帯に比べて 1 番高い。
- ・親子二世帯世帯は、「収入や家計に関すること」と答えた人の割合が高い。
- ・「介護に関すること」と答えた人の割合は、夫婦のみの世帯が低い。

(2) 困りごとの相談先

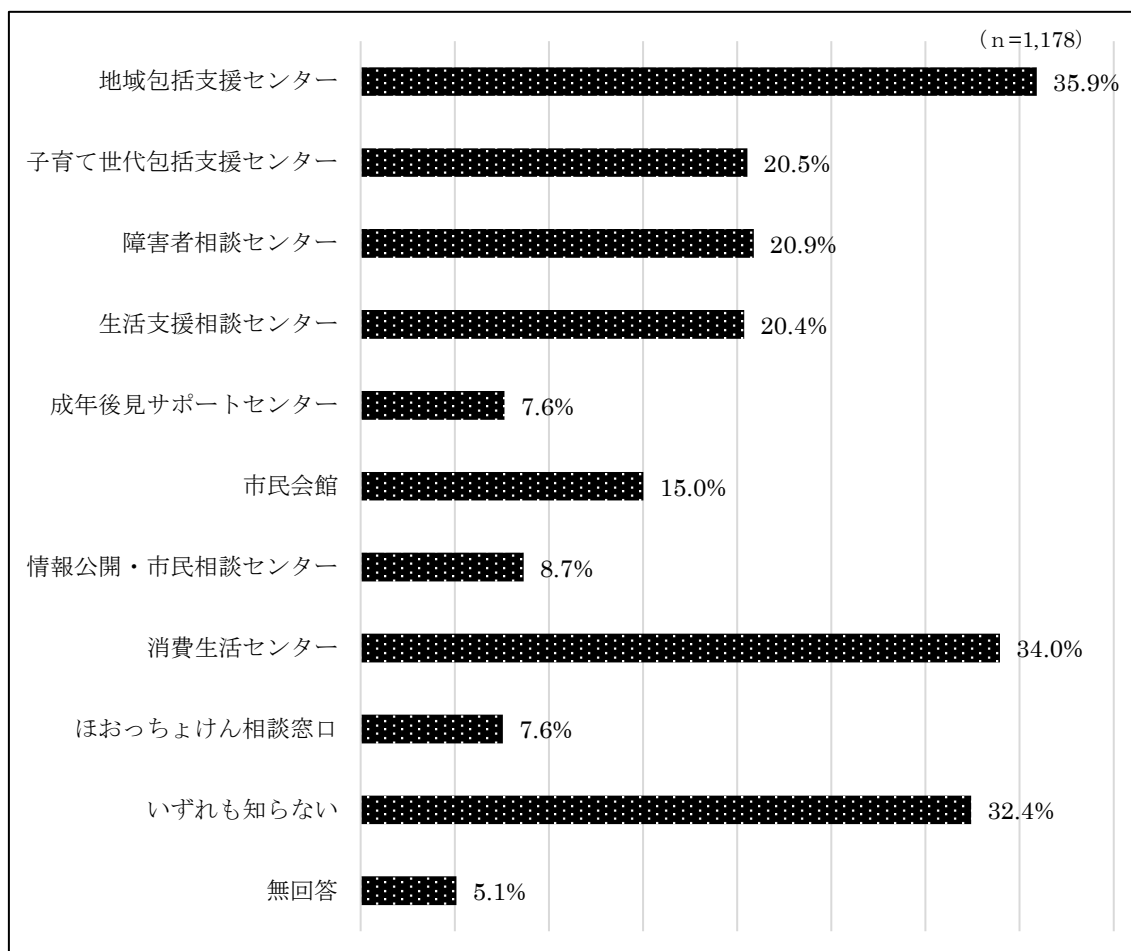
【問 22 あなたは、困りごと（不安や悩みを含む）があるとき、誰に相談していますか。（複数回答）】



- ① 約8割の人が「家族や親族」、約半数の人が「知人・友人」と回答しており、それら以外の項目を答えた人は少数だった。
(次に高いのは「医療機関」12.6%)
- ② 男女別の状況
 - ・「知人・友人」と答えた人の割合の差が大きく、女性の方が男性より16.7ポイント高い。
- ③ 年齢別の状況
 - ・高齢になるほど、「知人・友人」と答えた人の割合が下がっている。
 - ・75歳以上の方は、「近所の人（10.9%）」「自治会・町内会（4.9%）」「民生委員・児童委員（4.2%）」と答えた割合が他の世代と比べて高い。

(3) 行政等の相談窓口の周知度

【問 23 高知市が設置している生活に関する相談窓口で知っているものすべてに○をつけてください。(複数回答)】



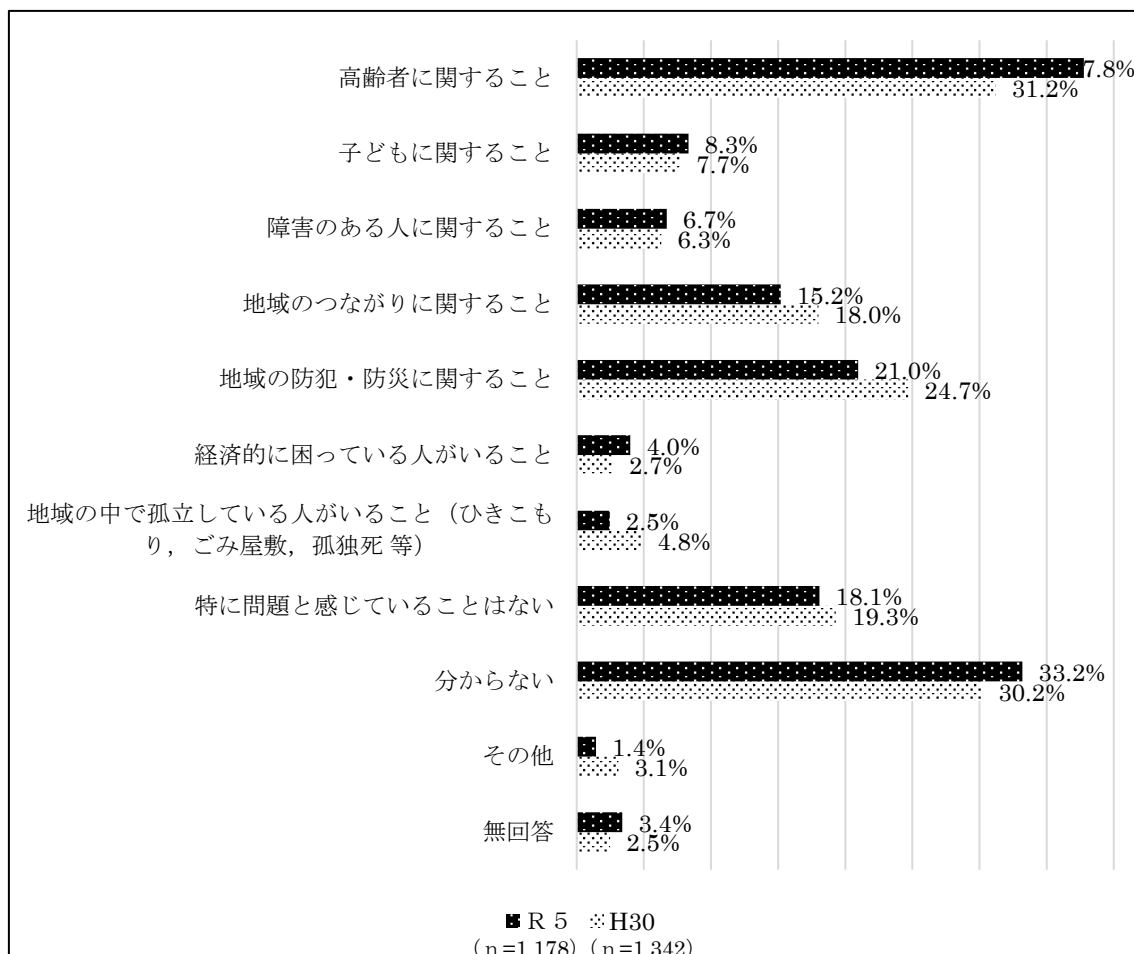
- ① 知っている相談窓口として答えた人の割合が高かったのは、「地域包括支援センター」(35.9%)、「消費生活センター」(34.0%)だが、「いずれも知らない」と答えた人の割合も32.4%と高かった。
- ② 「ほおっちょけん相談窓口」の周知度は7.6%。
- ③ 男女別の状況
 - ・男性よりも女性の方が、各相談窓口を知っている割合が高い傾向。
- ④ 年齢別の状況
 - ・高齢者は「地域包括支援センター」、現役世代(子育て世代：20歳代から40歳代までは)、「子育て世代包括支援センター」を知っていると答えた人の割合が高い。
 - ・10歳代から20歳代までは「生活支援相談センター」を知っていると答えた人の割合が高い。
 - ・ほおっちょけん相談窓口は、若い世代が知っていると答えた人の割合が高い。

- ・「いずれも知らない」と答えた人の割合で、最も高かったのは10歳代（43.8%）、次いで20歳代（41.7%）、40歳代（40.0%）だった。

9. 地域の課題（【資料編】P31～P33）

(1) お住いの地域にある課題

【問24 あなたのお住いの地域では、どのような問題があると思いますか。
（複数回答）】



① 「高齢者に関すること」と答えた人の割合が最も高く（37.8%）、次いで、「分からない」（33.2%）となっている（前回と同じ傾向）。

② 年齢別の状況

- ・「子どもに関すること」と答えた人の割合は若い世代が高い。
- ・「高齢者に関すること」と答えた人の割合は、10歳代が最も高い（46.9%）。
- ・「子どもに関すること」と答えた人の割合は、10歳代から40歳代が高く、最も高かったのは、40歳代の21.3%。
- ・「障害のある人に関すること」と答えた人の割合は、いずれの年齢層も10%未満で、最も高かったのは40歳代（9.3%）。

- ・「地域のつながりに関すること」と答えた人の割合は、20 歳代が最も高く 22.2%で唯一、2 割を越えている。
- ・「地域の防犯・防災に関すること」と答えた人の割合は、いずれの年齢層も 2 割程度で、30 歳代が最も高い (27.6%)。
- ・「経済的に困っている人がいること」と答えた人の割合は、40 歳代が最も高く (10.0%)、それ以外の年齢層では 1 割未満だった。
- ・「地域の中で孤立している人がいること」と答えた人の割合は、どの年齢層も 1 割未満で、最も高かった 40 歳代でも 8.7%だった。
- ・「特に問題と感じていることはない」と答えた割合は、60～64 歳、70～74 歳、75 歳以上が高く、2 割を超えている。
- ・「分からない」と答えた人の割合は、20 歳代が最も高かった (47.2%)。

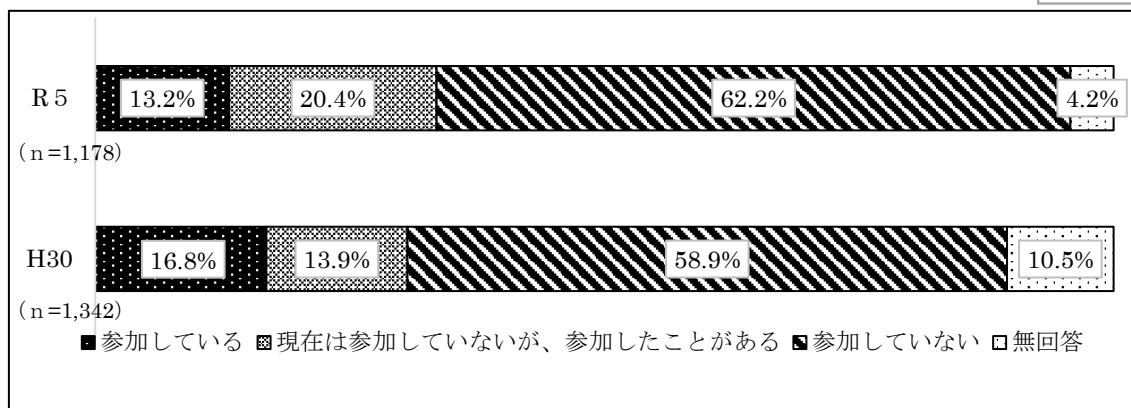
④ 日常圏域別の状況

- ・「高齢者に関すること」：最も高かったのは、春野 51.8%，最も低かったのは南 街・北街・江ノ口 25.3%。
- ・「子どもに関すること」：最も高かったのは、春野 16.1%，最も低かったのは 三里 3.2%。
- ・「障害のある人に関すること」：最も高かったのは、上街・高知街・小高坂 12.5%，最も低かったのは三里 0.0%。
- ・「地域のつながりに関すること」：最も高かったのは、上街・高知街・小高坂 20.5%，初月・鏡 7.1%。
- ・「地域の防犯・防災に関すること」：最も高かったのは三里 25.8%、最も低かつ たのは初月・鏡 12.5%。
- ・「経済的に困っている人がいること」：最も高かったのは上街・高知街・小高坂 9.1%，最も低かったのは旭街 1.9%。
- ・「地域の中で孤立している人がいること」：最も高かったのは潮江 5.0%，最も低 かったのは三里 0.0%，初月・鏡 0.0%。
- ・「特に問題と感じていることはない」：最も高かったのは春野 30.4%，最も低か ったのは上街・高知街・小高坂 11.4%。
- ・「分からない」：最も高かったのは大津・介良 39.0%，最も低かったのは春野 17.9%。

10. 地域活動（【資料編】P 34～P 45）

(1) 地域活動への参加

【問 25 あなたは地域の活動やボランティア活動へ参加していますか。】 指標



① 「参加している」と答えた人の割合は、13.2%で、「参加していない」と答えた人の割合は、6割を超えている（62.2%）。

② 前回と比べると、「参加している」と答えた人の割合が▲3.6ポイントとなり、「現在は参加していないが、参加したことがある」と答えた人の割合が+6.5ポイントとなっており、コロナの影響等も考えられる。

③ 年齢別の状況

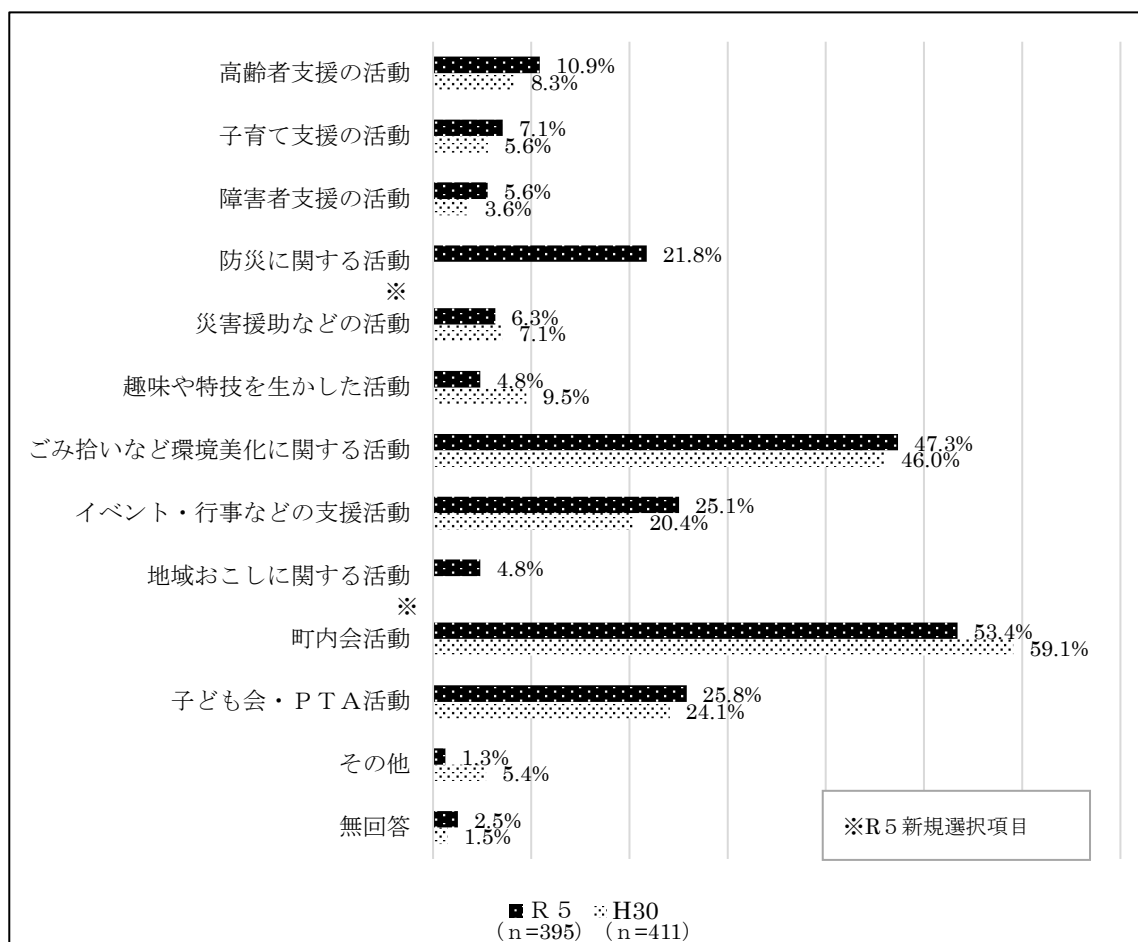
- ・「参加している」と答えた人の割合は、高齢者が高い。
- ・10歳代は、「現在は参加していないが、参加したことがある」と答えた人の割合が高く（50.0%）、学校行事等での参加も考えられる。
- ・10歳代以外の年齢層では、「参加していない」と答えた人の割合が最も高い。

④ 日常圏域別の状況

- ・「参加している」と答えた人の割合は、市街地が低く、周辺地域が高い傾向。（下知・五台山・高須 5.9%，潮江 7.5%，上街・高知街・小高坂 10.2%）（春野 26.8%，秦・土佐山 20.3%，三里 19.4%，布師田・一宮 16.7%）

(2) 参加している（していた）地域活動の内容

【問 26 問 25 で「1 参加している」又は「2 現在は参加していないが、参加したことがある」と答えた方にお聞きします。その活動は具体的にどのような内容ですか。（複数回答）】



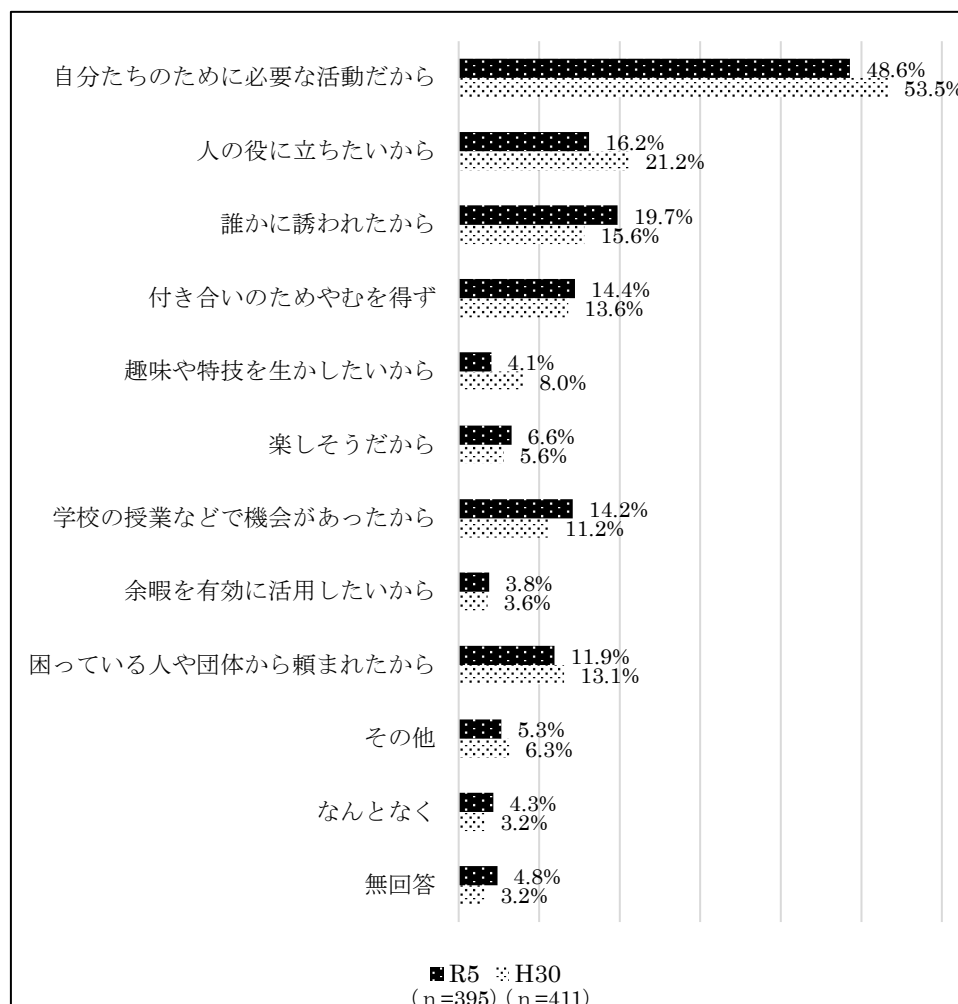
① 「町内会活動」と答えた人の割合が最も高く（53.4%）、次いで、「ごみ拾いなど環境美化に関する活動」（47.3%）が高い（前回と同じ傾向）。

② 男女別の状況

- ・「高齢者、子育て、障害者の支援」など、人への直接支援は、女性の割合が高く、「防災、災害援助、環境美化、イベント・行事、地域おこし、町内会」などの地域活動は男性の割合が高かった。ただし、子ども会・PTA活動は女性の割合が高い（31.6%）。

(3) 地域活動に参加したきっかけ

【問 27 問 25 で「1 参加している」又は「2 現在は参加していないが、参加したことがある」と答えた方にお聞きします。活動に参加したきっかけは何ですか。（3つ以内選択）】



- ① 「自分たちのために必要な活動だから」と答えた人の割合が最も高い（48.6%）
- ② 概ね前回と同様の傾向だが、「自分たちのために必要な活動だから」が▲4.9ポイント、「人の役に立ちたいから」が▲5.0ポイント、「趣味や特技を生かしたいから」が▲3.9ポイントなど、自発的なきっかけがあったと回答した人の割合が下がり、「誰かに誘われたから」が+4.1ポイント、「付き合いのためやむを得ず」が+0.8ポイント、「学校の授業などで機会があったから」が+3.0ポイントなど、他者からの誘いなどによるきっかけがあったと答えた人の割合が上がった。
- ③ 男女別の状況
 - ・男性は、「自分たちのために必要な活動だから」、「人の役に立ちたいから」、「困っている人や団体から頼まれた」と答えた人の割合が女性より高く、正義

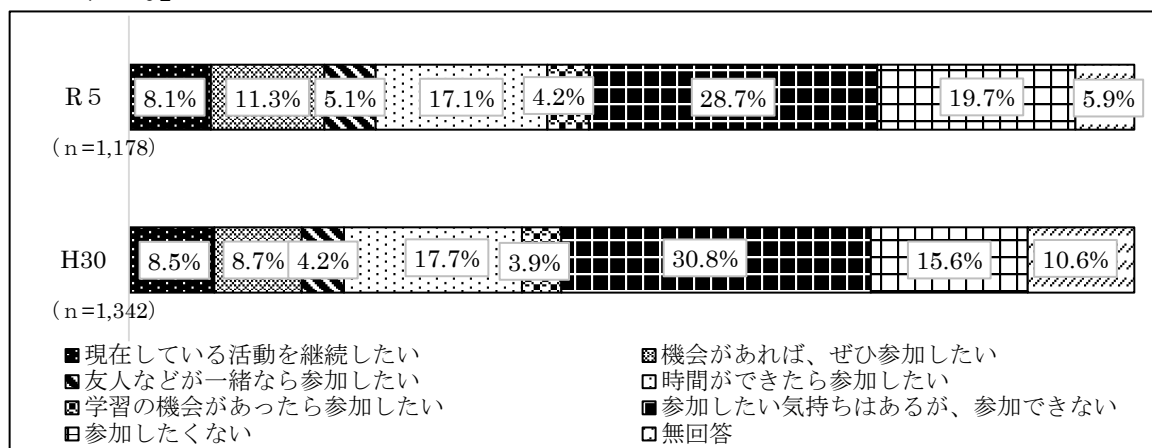
感や誰かに必要とされることが地域活動への参加のきっかけとなることが女性より多い傾向。

- ・一方、女性は、「趣味や特技を生かしたいから」「楽しそうだから」「余暇を有効に活用したいから」が男性より高く、活動自体の楽しさがきっかけとなることが多い傾向。
- ・男女の差が最も大きいのは「学校の授業などで機会があったから」で、女性（19.8%）が男性（6.7%）より 13.1 ポイント高かった。

(4) 今後の地域活動への参加意向

【問 28 あなたは今後、地域の活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。】

指標



- ① 約 5 割の人がなんらかの形で「参加したい」と回答（45.8%）。約 3 割の人が「参加したい気持ちはあるが、参加できない」と回答（28.7%）。
- ② 前回と比べて、「参加したくない」と答えた人の割合が 4.1 ポイント上がった。

ただし、なんらかの形で「参加したい」と答えた人の割合も上がっている（＋2.8 ポイント）。

③ 男女別の状況

- ・男女別の差はほぼない。最も差が大きいのは、「参加したくない」と答えた人の割合（男性が女性より 4.6 ポイント高い）。

④ 年齢別の状況

- ・なんらかの形で「参加したい」と答えた人の割合は高齢者が低く、10 歳代が最も高い（75.1%）。
- ・75 歳以上は、「参加したい気持ちはあるが、参加できない」が 45.3% で最も高い。
- ・若い世代では、「機会があれば、ぜひ参加したい」と答えた人の割合が高かつ

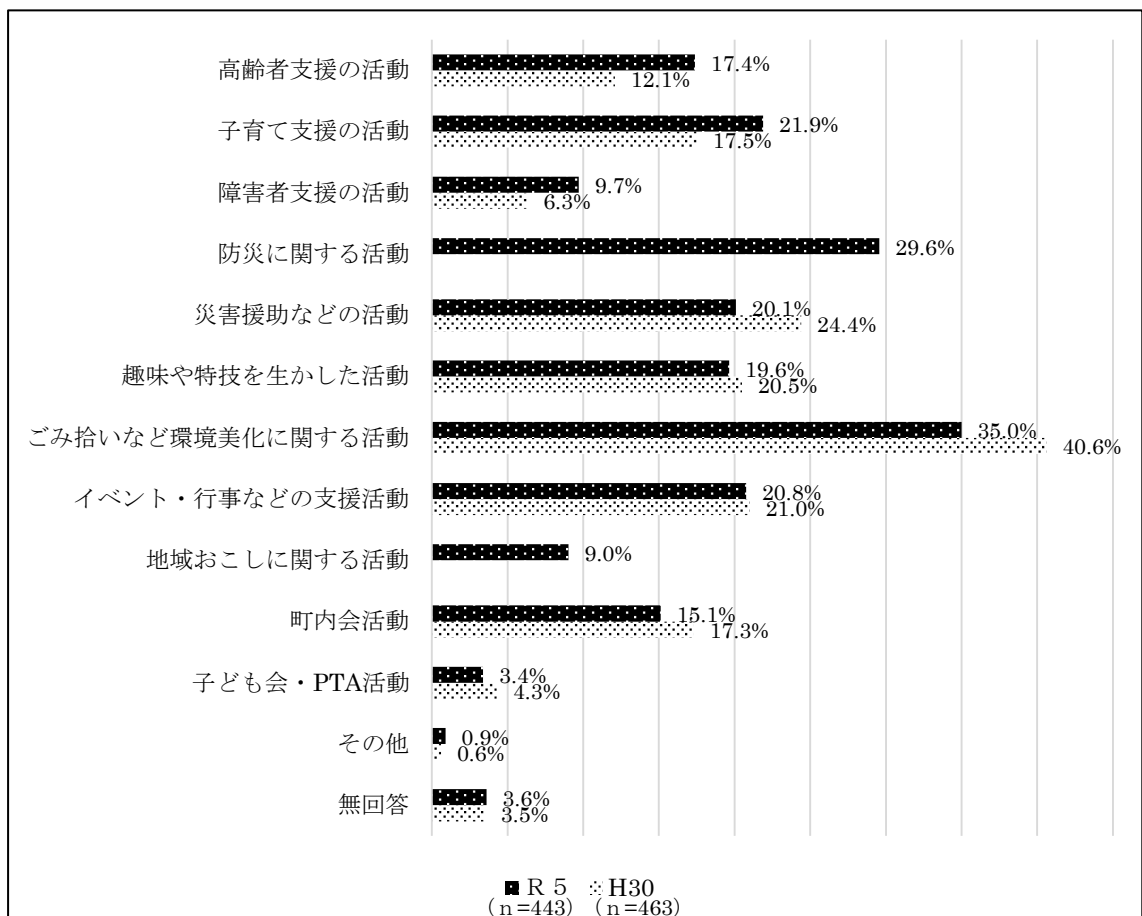
た。

⑤ 日常圏域別の状況

- ・実際の地域活動への参加の状況は、市街地が参加している人が低く、周辺地域が高い傾向だったが、この設問(参加意向(気持ち))では、そのような傾向はなかった。
- ・なんらかの形で「参加したい」と答えた人の割合が高かったのは、春野(55.4%)、次いで旭街(53.3%)、秦・土佐山(52.6%)、南街・北街・江ノ口(51.9%)。
- ・三里は、なんらかの形で「参加したい」と答えた人の割合が他の地域と比べて最も低く(32.3%)、「参加したくない」と答えた人の割合が最も高い(29.0%)。また、「機会があれば、ぜひ参加したい」と答えた人がいなかった。

(5) 今後参加してみたい地域活動

【問 29 問 28 で 2) ～ 5) のいずれかに○を付けた(今後、地域の活動やボランティア活動に参加したいと答えた)方にお聞きします。今後、参加してみたい活動は具体的にどういった内容ですか。(3つ以内選択)】



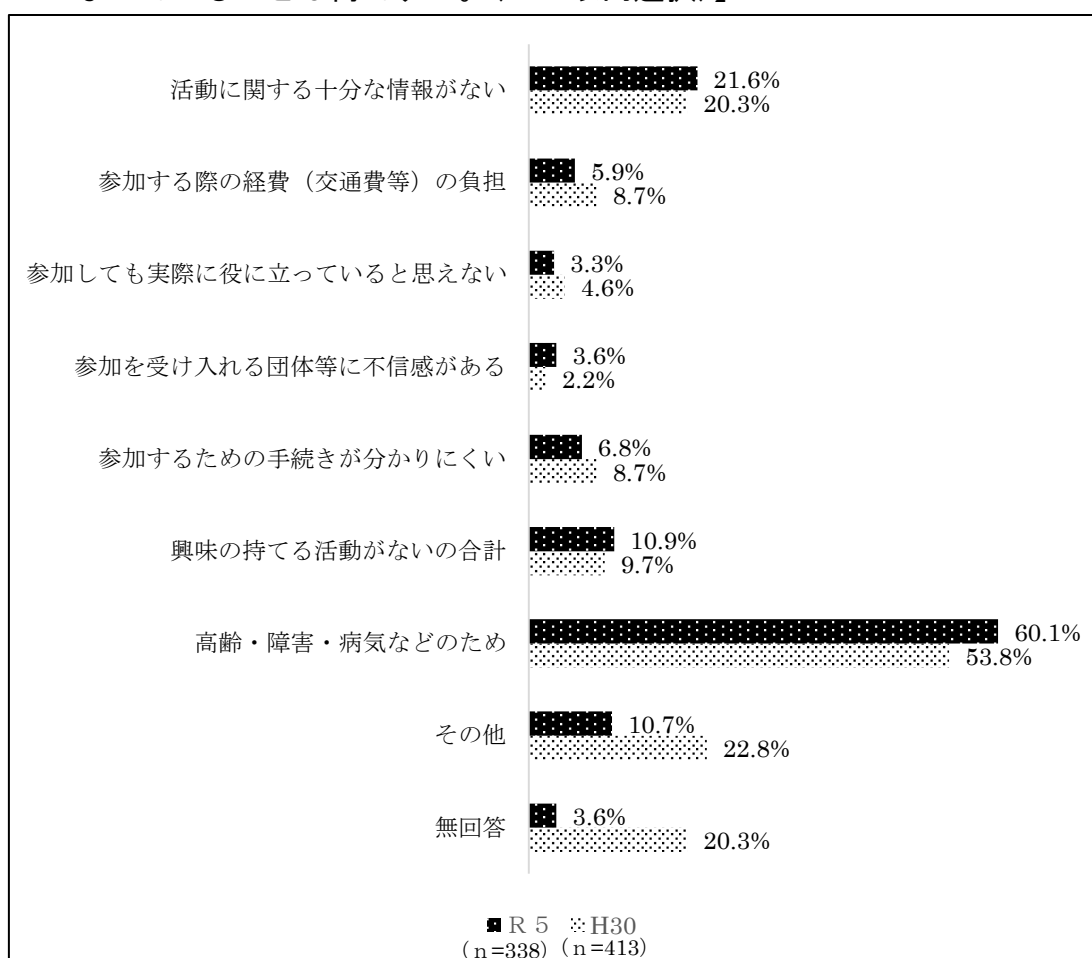
- ① 「ごみ拾いなど環境美化に関する活動」と答えた人の割合が最も高く（35.0%）、次いで、「防災に関する活動」（29.6%）。

② 男女別の状況

- ・実際に参加している（していた）活動と同様に、「高齢者，子育て，障害者の支援」などの人への直接支援は，女性の割合が高く，「防災，災害援助，環境美化，イベント・行事，町内会」などの地域活動は男性の割合が高かった。ただし，「子ども会・PTA 活動」は女性の割合が高い（4.7%）。

(6) 地域活動に参加できない理由

【問 30 問 28 で「6 参加したい気持ちはあるが，参加できない」と答えた方にお聞きします。地域の活動やボランティア活動への参加の妨げになっていることは何ですか。（3つ以内選択）】

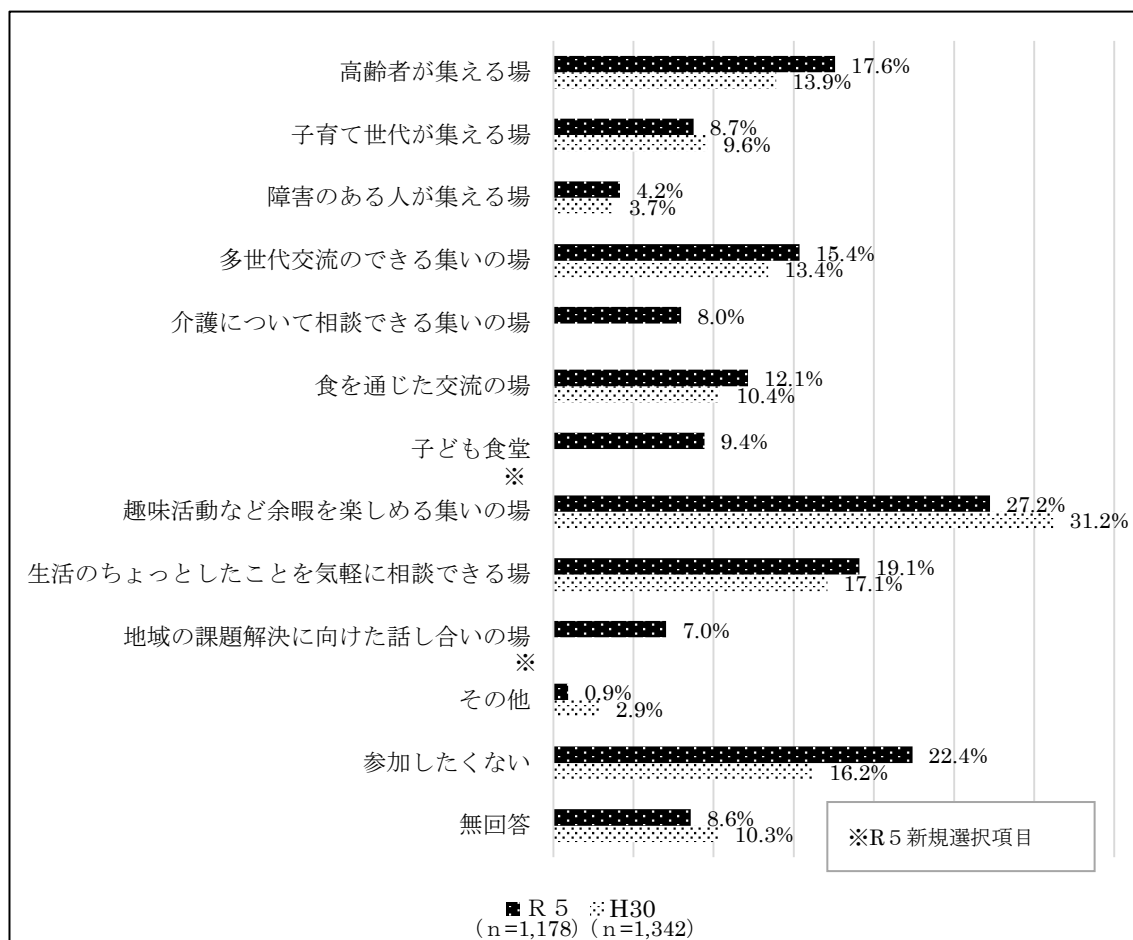


- ① 「高齢・障害・病気などのため」と答えた人の割合が，群を抜いて一番高い（60.1%）。
- ② 2 番目に高いのは，「活動に関する十分な情報がない」（21.6%）となっており，さらなる情報発信が必要。

11. 集いの場に関すること（【資料編】P46～P48）

(1) 参加したい集いの場

【問 31 あなたは、地域にどんな集いの場があれば参加したいと思いますか。（3つ以内選択）】



- ① 「趣味活動など余暇を楽しめる集いの場」と答えた人の割合が最も高い(27.2%)。
- ② 2番目に高かったのは、集いの場に「参加したくない」(22.4%)で、前回より6.2ポイント増加した。
- ③ 「地域の課題解決に向けた話し合いの場」と答えた人の割合は、7.0%であり、「ほおちちょけん相談窓口」を知っていると答えた人の割合(7.6%)と近い。
- ④ 男女別の状況
 - ・女性は、「子育て世代が集える場」「介護について相談できる集いの場」「子ども食堂」などと答えた割合が高く、男性は、「地域の課題解決に向けた話し合いの場」と答えた割合が高かった。
- ⑤ 年齢別の状況
 - ・高齢者は、「高齢者が集える場」と答えた人の割合が高く、30歳代から40歳代

までの子育て世代は「子育て世代が集える場」と答えた人の割合が高い。

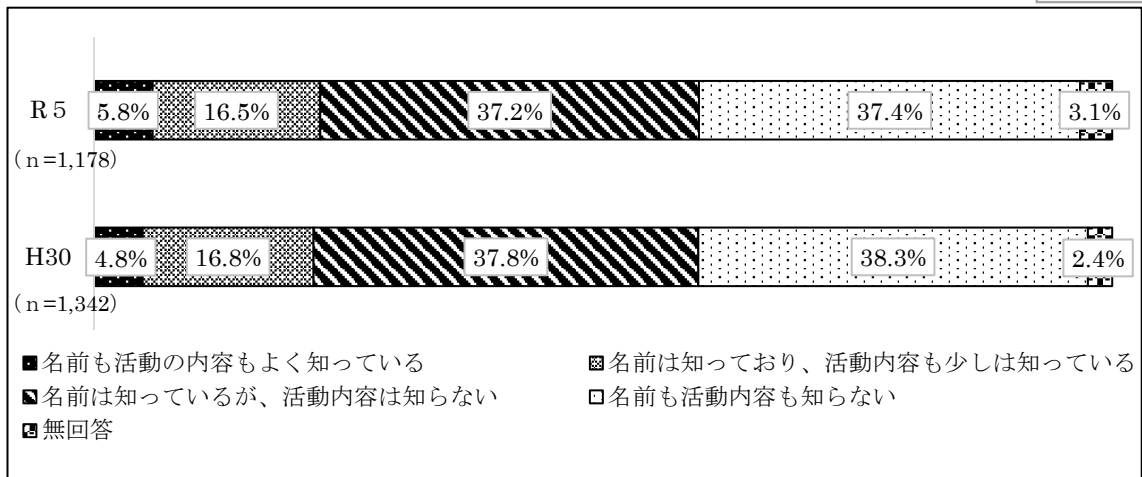
- ・70 歳以上の高齢者は、「多世代交流のできる集いの場」を求める人は少ない。
- ・「子ども食堂」と答えた人の割合は、30 歳代が群を抜いて一番高い（26.5%）。
- ・「趣味活動など余暇を楽しめる集いの場」と答えた人の割合は、10 歳代が最も高い（43.8%）。
- ・集いの場に「参加したくない」と答えた人の割合は、若者層が高い（10 歳代：28.1%，20 歳代：31.9%）。

12. 高知市社会福祉協議会について（【資料編】P49～P50）

(1) 高知市社会福祉協議会の認知度

【問 32 地域福祉を推進し、住民主体の地域福祉活動のお手伝いをする団体に、「高知市社会福祉協議会」があります。あなたはこの組織を知っていますか。】

指標



① 「名前も活動の内容もよく知っている」と答えた人の割合が、前回より 1.0 ポイント増加した。

② 男女別の状況

- ・「名前も活動の内容もよく知っている」と答えた人の割合は、男性が女性より 3.1 ポイント高い。

③ 年齢別の状況

「名前も活動の内容もよく知っている」と答えた人の割合について、

- ・10 歳代 0.0%，20 歳代 4.2%，30 歳代 1.0%となっており、若年層の認知度が低い。
- ・最も高いのは 50 歳代で 7.9%。

④ 日常圏域別の状況

「名前も活動の内容もよく知っている」と答えた人の割合について、

- ・最も高かったのは、南街・北街・江ノ口（11.4%）、次いで秦・土佐山（10.2%）、旭街（8.4%）、布師田・一宮（7.3%）。
- ・最も低かったのは、三里（0.0%）、鴨田（1.1%）、大津・介良（2.4%）。
- ・ほおっちょけんネットワーク会議が活発な地域で認知度が高い傾向。

13. 自由意見（抜粋）

【問 33 保健や福祉のサービス、地域福祉のあり方などについて、自由に意見をお書きください。】

(1) 高齢者に関すること

① 要望・意見

- ・20 歳代男性：**同居の両親も歳をとっていつているので、福祉の充実は必要だと思う。**
- ・60 歳～64 歳女性：ほぼ寝たきり状態になっても、**家族の手を煩わせることなく、自宅で過ごせるような生活支援が安心して受けられること。**
- ・60 歳～64 歳女性：**独居老人者については手厚い扶助をお願いしたいです。**
- ・75 歳以上女性：アップルウォッチに付いている機能で**心臓の動き？分かるやつみたいのを一人身高齢者の付けることができないのでしょうかね！？。**
- ・40 歳代女性：介護保険制度に限りがあり、**制度内のサービスでは不十分な事も多い。**地域で**ボランティア団体で不足した部分を補える活動があれば**住み慣れた場所での生活が継続できるのではないかな。
- ・75 歳以上女性：**息子や娘達に年寄りのツケを背おわせたくもなく、**そんな事を考えますとなんの解答にもなりません・・・。
- ・50 歳代男性：国は介護に関して在宅！在宅！！と言うが、**仕事をしていると在宅はムリがある。**もっと**高齢者施設を使いやすくすべきだ。**また、年金だけでは施設入居はお金が不足する。
- ・65 歳～69 歳男性：高齢者への**予防医療を充実して病院通いを少なくしたら良い**と思う。
- ・50 歳代女性：もっと**高齢者の移動手段について考えないといけない**と思います。全く家から出れない方もたくさんいらっしゃると思うからです。高齢者の方にスマホを活用できる様にしてあげてタクシーの相乗りを同じ地域からできる様にするとか考えて欲しいです。
- ・75 歳以上女性：高齢者も青年も子供も高知市民が安心して住める高知市になる事を望みます。
- ・75 歳以上女性：長浜杉ノ子会には高齢者がずい分居ます。**百歳体操の場を作ってください。**
- ・60 歳～64 歳女性：**百歳体操とは別に、**足、腰に効く体操や、運動を教えてくれる所が近所にあれば、行きたい（カーブスみたいな運動）無料で！！交通弱者に寄り添った、バスの便数、値段、時間、考えてほしい。都会みたいに出勤をしてくれる

店が近くにほしい。

- ・70 歳～74 歳女性：**高齢者が気軽に行ける場所がほしい**です。
- ・75 歳以上女性：**介護度がなくても**，お手伝いしていただけるシステムが出来たら嬉しいのです。
- ・50 歳代女性：親の介護にも直面する年代にもなり，**介護の話や，複雑な手続きなど分りにくい事が沢山あり**，近くで相談できたり，高齢者にも気軽に交流できる場所の必要性を感じます。
- ・75 歳以上女性：**子や孫たちに親の介護に関わる苦労を少しでも減らすことが願い**です。そのために，福祉のサービスを気軽に利用できるようにお願いします。私自身も今の自立した生活を一日でも長く続ける努力をする決意であります。
- ・50 歳代女性：この時代に高齢者の方々が，寂しく暮らしていることは何となくは知っていますが**自分が何ができるのか方法がわかりません。若い人が高齢者を支える社会を作っていただきたい**です。
- ・70 歳～74 歳女性：春野町には「でこの里」のように高齢者がつどえる場所があります。空家を利用して，各地区に，地区で管理してこういう，**いつでも行ける喫茶店のような場所があれば**，いいと思います。
- ・40 歳代女性：**介護保険対象にならない高齢者**の方の生活援助が公的に出来ると良いと思います。
- ・70 歳～74 歳女性：高齢者の一人ぐらしは，食生活が悩みの種です。**子供食堂の取組はとてもいい**と思いボランティアでもできればとも思いますが，**子供だけでなく高令者も食事が出来れば助かる**し，子供さんとの交流が出来る場になるのではないかと考えます。運営についてよく知りませんが，行政としての援助が手厚くあれば，場所や回数が多くなるのではないかと思います。
- ・60 歳～64 歳女性：**介護をしている人の幅広い情報を共有する場や，経験によるアドバイスを受けることのできるコミュニティがあれば良い**と思う。ケアマネージャーも頼りにはできない状況で全部かかえこむことになって生活の負担が重く感じる。
- ・50 歳代男性：高齢者の孤独死のニュースはやり切れない思いがします。「個人のプライバシー保護」は尊重されるべきとは思いますが，**各世帯の状況把握は常にしておき，安否や，心身の状態を定期的に確認して欲しい**です。
- ・75 歳以上女性：**要介護Ⅰに相当しない1人暮らし**の生活の様子を何らかの方法で把握して欲しいです。
- ・70 歳～74 歳女性：**高齢者が気軽に行ける場所がほしい**です。

② 苦情

- ・50 歳代女性：**高齢者ばかりに手厚すぎると**思います。今の若い世代はもっと大変なのに，現在の**70 代～80 代の方はわがままなことを言う方が多い**。支援しても

らってもまだ不服を言っている。困った世代だ。

- ・ 70 歳～74 歳女性：**介護認定されると病院でのリハビリ治療が受けられないのはおかしい**と思う。

③ 悩み・不安

- ・ 75 歳以上女性：**病院への送迎**（自宅から）。
- ・ 75 歳以上男性：**最近体調がすぐれず、何事もおっくう**である。
- ・ 75 歳以上男性：**自分が病気に成りはがゆい**です。
- ・ 75 歳以上女性：サービスは知っていますが、**足がないので、参加することが出来ません**。
- ・ 75 歳以上男性：**費用負担。なるべく人に迷惑をかけない様に**。
- ・ 75 歳以上女性：高齢のため、**体力がなく動けないのが残念**です。
- ・ 75 歳以上女性：**92 才病気で家から出ない**（ガンです）。引越して**地域の事を余り知らない**。
- ・ 70 歳～74 歳女性：在職中の高額な（介護保険支払い）今後**高齢者に成っての福祉のサービスがどの様に受けられるのかが不鮮明**で有る。自分自身で健康を気づかっているが後遺症認定をどこまで受けられるのかが不安で有る。
- ・ 65 歳～69 歳女性：将来一人で生活できなくなった時（身体的に）、**高齢者施設に入りたいと思っていますが、金銭面が心配**です。安心して年が取れる環境ができればと思います
- ・ 75 歳以上女性：現在、家族が近くにいて、心配はないけど、おいおい老いて体が動かなくなると、福祉のサービスは必要になってくると思います。**買い物など、日常生活等、1 人になった時のことはいつも考えています**。

(2) 障がい者に関すること

① 要望・意見

- ・ 40 歳代男性：**障がい者が当然の権利として利用できるサービスを丁寧に紹介、内容を説明して頂きたい**。
- ・ 60 歳～64 歳女性：**障害の理解を深めるために、気軽に集える場を作って下さると大変助かります**。親の介護に関しては、親元から離れて暮らしている者のため、旅費の補助や、子どもが小さい人のための支援等をお願いしたいと思います。
- ・ 75 歳以上男性：**障害者用の住宅が少なくもう少しあればと思う**。今困っている。
- ・ 50 歳代男性：もっと**障害のある方に住みやすくしてほしい**。
- ・ 40 歳代女性：**病気と障害で自分が生活に困っていても、付き合いがないし地域のことに参加も出来ない**ので、**ご近所さんに頼むということは無いと思う**。有料のサポートサービスもあったと思いますが、自分一人では出来ないけどほんとにちょっとした事

ただだったりすると割高に感じて私は使ったことがないです。時間制ではなくて、ほんのちょっとで済むことを手伝って貰える**ワンコインサービスとかがあったらありがたい**なと思います。誰かと繋がってないといけない、一人でいてはダメなんだ、という焦りや価値観で孤独感や孤立感が煽られてるように私は感じます。

- ・ 50 歳代女性：**子供の発達の不安が、専門の知識を持った方へ確実につながる体制を整えてほしい**。相談室等はたくさんあるが、「よく分からない、知らない」という答えでぼんやり返され解決せずあちこち自分達で探して、結果子供の不利益になる事があった。子供も親も安心して先に進めるようにしてほしい。
- ・ 50 歳代女性：**障害者がいる家庭の手助けをしてほしい**です。障害の程度により、把握して、最適な仕事や介助をしてあげてほしいです。軽蔑のない社会生活を作りたいです！。

② 苦情

- ・ 40 歳代女性：車イスの方と道路を散歩している時、**道が悪く車イスの方がこけそうになりました**。障害者も安全・安心して通る道が少ないと感じました。

③ 悩み・不安

- ・ 65 歳～69 歳女性：発達障害のある子どもと生活しています。**親は歳を取って行くので将来の生活の心配、災害が発生した時の心配**など常にしています。社会が障害者理解や高齢者にやさしい社会になればうれしいです。

(3) 子どもに関すること

① 要望・意見

- ・ 30 歳代男性：高齢者の多い高知県だが、高齢者にばかり支援や対策が講じられている傾向にあるので、**若者・子供に対しての支援や環境づくりが必要**だと思う。大阪に住んでいたことがあるが、田舎から若者が移住してくる理由をひしひしと感じた。教育や子育てに関しては断然都会の方が発展しているし、そういう施設も数が多いので施設間の競争もあり利用者にとって良い環境づくりがどんどん発展していると感じた。高齢者の集う場所がいくらあっても若者は県外に出ていくだけなので、行動力もあり発展途上の**若者が過ごしやすい、住みたいと思う環境づくりが必要**。
- ・ 20 歳代男性：まだ子供はいないが、**保育施設などの充実を期待する**。地域で**子供食堂とかをしている場所が少なく**思います。もっと増やしていく事が重要だと思います
- ・ 40 歳代女性：地域の**こども達が気軽に集まり、宿題をしたり、勉強を教えてもらえる場があるとありがたい**。勉強以外にも（手芸や工作など）。
- ・ 40 歳代女性：特に子育て中の困窮世帯へのサービス等に力を入れ、**どの子供ものびのびと生活できるようにしてほしい**。食品等の配布にとどまらず、日用品や学校用品と

いった物もゆずりあえる場を広くもうけてはどうか。

- ・ 40 歳代男性：**不登校児童対策として、学校へ任せず自治体で独自に支援**（復学プログラムや学業サポート等）する地域福祉政策が欲しい。
- ・ 70 歳～74 歳男性：体育館利用費が子供には高すぎます。
- ・ 40 歳代女性：**学校の施設をもう少しきれいにしてほしい。**（避難場所にもなるので）

② 苦情

- ・ 30 歳代女性：子育てをするようになり、**高知市は子育て世帯には住みづらい町だと感じる**ことが増えた。気軽に子どもを連れて行きたい**公園もほとんど草がボーボーで**手入れされておらず、安心して暮らせる町とはほど遠い。**公共交通機関の路面電車も割高**で気軽には利用できない。
- ・ 30 歳代女性：**高知市は、子育て世帯にやさしくない**と思います。子育て世帯は、今と昔とでは違いすぎます。色々な事をアップデートするべきだと常を感じています。医療費しかり、賃金にしかり、このままだと高知県から人がいなくなり、観光のみの県になりそうです。
- ・ 75 歳以上女性：市長，知事が県民の生活苦に対してまったく何の援助もしない。子供食堂に対しても！！最低の県！！。

③ 悩み・不安

- ・ 30 歳代女性：多死社会となった今小さな**子育て世代として、将来に対する不安が大きい**。働き世代は仕事で家にいない間，高齢者や手助けがいる人達のサポートがないので，不安があるのではないかと感じる。どういった支援があるのか，本当に必要な人達はネット環境や相談相手などおらず，孤独であると思う。そこまで手が届かないのも現実ではないかと思っています。

(4) 生活困窮に関すること

① 要望・意見

- ・ 40 歳代男性：低所得上位県の高知県で日々，**声もあげられず毎日が困窮している家庭は未だコロナが明けても水面下で継続しています**。そんななか，もっと表面だけでなく，その水面下で起きている現状を知事含め，もっと目を向けるべきだと思ってます。物価高騰，重税の搾取，南海トラフへの不安，今は**生きていくのも精一杯で未来への希望が消えかかっています**。この高知県を，そこに住む私たちの未来を少しでも明るく照らしてください。

- ・ 40 歳代女性：手助けがない家庭は沢山ある。しかし、全く助けてもらえる制度がなく困っている。**子供は多くほしいが、生活に困る為増やす事ができない。** 必要な支援を見極めて尽力してほしいです。

② 悩み

- ・ 75 歳以上男性：年金生活なのに**介護保険料が高い事**，将来この年金から引かれている**保険料をどの様に使えるか分かりません**。70 才を過ぎての介護保険料は高くて生活苦になります。
- ・ 75 歳以上女性：介護保険料が高く，サービスを受けると，それにサービス料が加算され，**経済的負担が多く大変である**。**我が家は老々介護**である。4，5 年先にはどうなるか考えると不安である。

(5) 生活保護に関すること

① 要望・意見

- ・ 50 歳代女性：**本当に生活の困った方に，生活保護を受けてほしいですが**，一方で，体力があって，仕事したくない，生活保護を受けている人に対して，もっと詳しく調べて，軽作業から始まって，**自分のできる事を頑張してほしい**です。
- ・ 70 歳～74 歳女性：福祉サービスと聞けば高齢者や，生活保護に関する内容が多い気がします。支給に到るまでの敷居が高く，**1 度支給すればもらった者勝ち**で目に余る生活をしている受給者。パート賃金よりも多い支給額をもらえるならバカらしく働く気力も失います。受給者 100 人の日常を 1 人のケースワーカーが担当するのは無理です。マニュアルに添った対応しかできません。名前だけの民生委員にも，その役割を担わせたら良いと思います。民生委員の若返りも必須です。

② 苦情

- ・ 50 歳代女性：**大人の引きこもりが問題**と思う。**生活保護者が増えてまじめに税金払うのがばからしく思える**。生活保護者のタバコゆるせない！
- ・ 75 歳以上男性：生活保護を受けていて他の仕事をしていると本人が言って（保護を受けていたときに多額の収入があったそうな）いました。車は姉名前。市に収入の連絡はありましたか？。調べて。

(6) 相談窓口に関すること

① 要望・意見

- ・ 50 歳代男性：どこに問い合わせたら分からないから**総合窓口を設けて的確な連絡先を案内したらよい**。もちろん連携済みで，たらい回しにしないこと。

- ・40歳代女性：家庭の問題等を**相談しやすい施設があると良い**と思う。
- ・30歳代女性：**相談窓口がたくさんあることを知りませんでした**。もっと住みやすく生きやすい、助けあえる街となることを願っています。
- ・50歳代男性：**土、日に相談できる窓口が欲しい**。
- ・50歳代女性：問23の、**相談窓口は、知らない方が多いのでは？**と思います。このセンターではこういう相談を受けていますとか、こういう困った場合はこのセンターに相談して下さいとか、例をあげて、一覧にして、市民にわかりやすく**あかるいまち等**に書いてあればいいなと思います。
- ・40歳代女性：わたしの住んでいる市営住宅では、焼死や孤独死された方や、コロナの影響もあり、人との交流が、ほぼ無に等しいです。集会所も、公園も、ベンチさえも存在しない未完成な市営よりも、昔の方が、「行ってらっしゃい。お帰り。」など声をかける人や井戸端会議してる人もいて、まだ良かった。スマホの販売店みたく、**日常生活における困り事などを相談できる出張相談所みたいなイベント**が、市営住宅で、月2回ぐらいあればいいなと思います。高齢者も多いので。
- ・60歳～64歳男性：**気軽に相談できる所があったら有難い**です。
- ・40歳代女性：**必要となった時、どこへ連絡、または相談したらいいのか窓口がわかりにくい**。必要としている人に対して活動の場が少ないように思うのでいろいろ問題はあると思いますが活動の場が今よりもっと増え、地域住民にとって身近な存在であってほしいと思います。

② 苦情

- ・60歳～64歳男性：こまりごとがあれば色々と調べ、**相談に行くことはあるがあまり役に立ったことはない**。
- ・50歳代女性：**相談しても思うような対応ができていないのが実情**ではないかと思います。
- ・60歳～64歳女性：市役所等に電話しても上手く説明できなかつたり、たらい回しにされその度に一から説明みたいな経験はみんなあると思う。

(7) 情報提供に関すること

① 要望・意見

- ・40歳代女性：こちらから情報を得ようとしなくとも、全ての人に必要な時に思い出して活用してもらえるように、**一覧の冊子のようなものを全家庭に配布して欲しい**。ネットを活用出来ている人ばかりではないし、検索出来たとしてもピンポイントで繋がらるわけではなく、必要な時なら必要な情報が行き届いてないと思う。
- ・成人していない子ども等は、家庭内に問題があつて今の状況をどうにかして欲しいと

思っても、どこにどう頼っていいかわからない。**どの世代の人も、困った時、声をあげれば必要なところに必ず繋げてくれるシステムがあればいい**と思う。例えば、高知市ホームページ内に困りごとの項目があって、アンケートに回答して、その人が必要な時に繋がれるところの連絡先に辿りつけるものがあるといいと思う。しかし、どんなシステムが出来たとしても、それを受け入れてくれる人材が整っていないと意味がない。一部の人は出来ているかもしれないが、今の高知市にはその心構えが十分ではなく、表向き形だけ整えて、その影で傷つき命を失っている人も実際にいる。市民の声をすくい上げて活用し、寄り添ってくれないのなら、このアンケートも意味がないと思う。

- ・ 10 歳代女性：**若い人は**福祉などのあり方、サービスなど正直、興味の無い人からしたら**何も分からない**し学校などの出前授業などで説明を行ったり CM を出したりなど**若い人も見るツールを活用して認知度の向上を図ったらいい**と思う。そしてどういう現状があってどういう対策をするべきなのかとかをアピールしていけばいいのかなって思う。
- ・ 20 歳代女性：もっと地域住民や国民が社会福祉サービスについて**情報を得られる方法があればいい**と思います。回覧板でこういうことにお困りであればこんなのもありますよと見て分かるように。今ではインターネットでなんでも出来るようになってきましたが、高齢者はあまり機械を若者のようには扱える人が少ないと思います。
- ・ 40 歳代女性：自分が困り事が出来て初めて福祉について考える人がほとんどなので、そうなった時に、**どこに相談できるかを分かりやすい体制が整っていることがまずは第一**です。その次にそこから解決に至るまでのプロセスが提示されていれば、初期の戸惑いだけで済むと思います。あとは安心出来れば孤立することはないはずです。そういう福祉であって欲しいです。”
- ・ 30 歳代女性：活動内容を、できれば、もっと、いろんな人がたよれて、活用しやすくなると思いました。
- ・ 30 歳代女性：インターネットでの広告より、**郵便物の方が、良く見る**ので、サービス等あれば、広告にしてポストに入れて欲しい。
- ・ 75 歳以上男性：地元でありながら**地域包括支援(場所)**はじめて知れた。もう少しPRなどしたら。
- ・ 65 歳～69 歳女性：**自分から TEL するのではなく**、色々な事があると**連絡事項を年齢ごとに送ってくれるように**したら自分から参加するようになる。
- ・ 65 歳～69 歳女性：**高知市社会福祉協議会の組織は**、福祉関係だけのように思っ
て、内容ははっきりわからないのですが、**どういう時に協力が得られるかもっと知りたいと思います**。高齢者（69 才）のためにそう思います。
- ・ 60 歳～64 歳男性：福祉に関する活動等を**広くPRしてもらいたい**。

- ・10 歳代女性：**小学校の授業で、ほおっちょけんのキーホルダーをもらったのを覚えていて、合計3回あったにもかかわらず、内容をほとんど覚えておらず、**高校生の今も福祉について知っていることは少なく、大人になっても知らないということのないように、もっとそういった情報を広めていく必要があるのではないかと思います。
- ・30 歳代男性：どのように**活動を知らしめて(PR)いくかが大事**ではないかと思えます。

(8) コミュニティ（交流の場など）に関すること

① 要望・意見

- ・20 歳代女性：**人と会って話をするのが1番**だと思います。カフェとか、いつでも気軽に行ける場所があればいいです。人とすぐに話ができなくても、カフェに行く目的だけでもあればいいと思います。ただ生きているだけでは、生きられないです。何歳でも楽しく生きたい。買い物もしたい。高齢者でなくても気持ちは同じですから。
- ・65 歳～69 歳男性：**世代間のつながりを強めるための活動が必要。**
- ・30 歳代女性：**ごみ拾いも参加したいけどどうやって申込むのか分からないので、活動に参加しやすい、分かりやすい仕組みができると良い**と思います。
- ・50 歳代女性：今住んでいる場所は、比較的新しく区画整理されて同時期に建てられたところです。町内会に入っても、**コミュニティが大きすぎて繋がりが持てず**にいます。できたら**町内会を小さくして、お隣りとの活動が増えて、つながりも増える**のではと思う。南海地震にも地域連携が大事だと思う。
- ・40 歳代女性：昔ほど、**近所の交流もなくなってきた**。高齢者と若年者の隔たりがある。気軽に世代間交流ができる場があれば良いとは思う。
- ・20 歳代女性：色々と活動している団体は（自分の地域で）あるのだろうが、**どんなものがあるのかをほとんど知らない**。調べることはできるが、キッカケがないと自ら調べることは中々ないので、**キッカケ(町内会の回覧にチラシがあるなど)があれば良いと思う**。又、そういう活動を行う人々への助成金等がもっとあれば良いとも思う。
- ・65 歳～69 歳女性：**町内会への協力が得られない。役員のなり手がなく、運営維持が困難**。「働いているから役員は出来ない」「年とったからムリ」「～どこそこの役員もやりゆうきムリ」総会や町内のイベントの参加者が少ない。その割に、文句を言う人はいるようで・・・聞いてみると、他の町内会も同じような事で、すでに町内会が成立していない所もあるらしい。町内会が成立しないところは、自主防災会も機能していないわけで・・・「退職者が役員をやる」という考えを改め、若い人でも自分達の町内会運営に参加していくことが、明るい町づくりになると思います。**市町村としては、「町内会運営」について、もっと県民に啓蒙して欲しい。**

- ・60歳～64歳女性：**気軽に参加できる環境を作ってほしい。**
- ・10歳代女性：**話し合いなどの交流の場を増やし**，その場の存在を地域に住む人全員が知ることができるよう，「〇月〇日△時～□にてこんな会を開きます」というような**チラシを各家庭に届けたりするようにしたら良い**と思う。地域の掲示板にも貼り，より多くの人が参加しやすい雰囲気作りが大切だと思う。堅苦しく考えず，楽しく雑談等をするところから始めることが必要だと思う。
- ・75歳以上男性：地域に詳しい**民生委員の方を増やすこと**が大事ではないでしょうか！！ただ地域に集いの場があると言われても参加しにくい。
- ・20歳代女性：地域が**楽しく皆んな関われる場があればすごくいい**と思います。
- ・70歳～74歳女性：自分が**住んでいるところの民生委員さんを知らない人がたくさんおられる**ように思います。活動内容や委員さんを熟知できるようになる必要を感じます。
- ・75歳以上男性：子供や老人が気軽に話しあえる場・夏はすずみ台・冬はたき火等 **女, 男, 老, 若話し合う。**
- ・65歳～69歳：仕事をしていると**地域の活動に参加できてない**。お世話になっていると思っている！！地域（近所）で声もかけかけづらい方がいる。その方の溝そうじ草刈りなどできる場所は敷地には入らず，やっている！下水道（市の方から声かけはできないのか？）にしてくれたらそうじも簡単なのに2つの家がしてないので溝そうじが大変。これから**年をとるといつまでできるのか心配**している。道が私有地になっているから義務はないらしいがその2つの家がそうじはしないので困っている
- ・75歳以上男性：問22に関して質問です。①**地域の担当者が判らない。民生委員，児童委員等の名前(？)**が②各町内会等の担当者の名前だけでも！。

② 苦情

- ・65歳～69歳女性：**地域・ご近所さんとの連携と言いながらも実際集まると上べだけの会話**。親しい人同士はかたまっておしゃべり，本音は，どこにあるのか。途中で入居したのでじつと様子をみて，23年未だにつかめない。団地，一人一人がとても強い考え。高齢になりひきこもりもよく分かる気がする家のなかがくつろぐ感。

③ 悩み・不安

- ・75歳以上女性：私は85才になりますが，人生は長い様で，年をとるのが早いです。仕事，仕事で大変でした。人は，これは，これはと言う幸せは，少ないと思われます。**元気会でも人間関係が難しい**様に思いました。
- ・ここの住宅は，若い家族は仕事に出かけ，昼間はいなく，**余り若い人たちとの交流がなく**，名前も知らない家庭もある 春には桜を見，秋には紅葉をと，若い

方々ともう少し深い交流ができれば、地域に愛着もわき、もっと老後を楽しく送れる気がする。

(9) 防災に関すること

① 要望・意見

- ・ 70 歳～74 歳女性：災害時の避難場所は知っているが、そこに**どんな設備や備蓄があるのか**、また、**どんな場合には避難できないのか**が詳しく説明されていないので、何処に避難したらいいかわからない。もつと避難場所についての説明が欲しい。食べ物を持って行くのか？毛布等はあるのかなど、教えて欲しい。

② 悩み・不安

- ・ 75 歳以上女性：夫婦とも高齢(92 才と 86 才)で急病、突然の災害時が心配です。子ども二人は遠くにいる。
- ・ 65 歳～69 歳女性：南海トラフ地震対策として、住んでいる地域の被災情報を具体的に知らない人が自分も含め多いと思う。地域のつながりがいない状況で支援や協力が、できるのか不安がある。

(10) 「地域福祉活動」への反対意見

① 要望・意見

- ・ 30 歳代女性：孤独や 1 人であることが好きな人間もいる。そういう人間にとってほおつちよけん、などと余計なお世話である。共生など聞こえはいいが、そんなものは甘えである。成人した者は例外はあれど自立すべきである。足るを知り自分の足で立て。公的機関を頼るのはまだ理解できるが近所付き合いなど、たまたま同じ地域に住んでいるだけで共生など学校生活の「みんな仲良く」に似た綺麗事である。人付き合いを無理にする必要はない。無理な付き合いこそ人間関係のトラブルの元である。自分のことは自分でやる。人に迷惑をかけない。これらは自立した成人なら当然である。子供にもそう教育すべきと考える。
- ・ 20 歳代女性：地域福祉とはなんでしょう。昔はお隣さんとの付き合いが当たり前の世の中でしたが今は違います。隣に誰が住んでいるのか何人住んでいるのかなど把握していません。誰かの陰口や不満を文章にして、関係のない人も不快にさせる回覧板も不要だとも思います。これからはこう言った場の把握は県や市、警察にまとめてやってもらいたいです。自分自身が知っていないとただ不利になる世の中です。口は災の元ですし、近所の人と協力する人が減るのも理解できます。高知の県民性として、仲間意識が高く共感できないと村八分にさせる人が多いです。県外移住や県外の人と結婚した人との子供が大きくなったりで、そうでない人のギャップが増えてきて高知を離れる若者が多くなった現実も知っておいてください。そこを

知った上で今後の福祉活動に手をつけるべきです。**近所の協力ありきで考えないでください。**

- ・ 60 歳～64 歳女性：地域福祉を人々の善意や無償で維持していくという従来の考え方を改める時期が来ているのではないかと。「**有償の仕事**」として**位置づけ**をし、負担感を減らしやりがいにつなげる仕組みづくりが必要。時間に余裕のある元気な高齢者や非正規職員ですき間時間の労働なら可能である現役世代に、地域の困りごとに有償で対応してもらえるシステム（マッチングアプリ e t c）で地域福祉を支えていく。そういった発想の転換が必要ではないでしょうか。有償であれば動いてみようか、やってみようか、少し安いけれどまあ頑張ってお手伝いしてみてもいいわ、と思ってもらえる。何がしかの対価が得られるのであればやってもいいよという動機づけになり人々の中に眠っている善意を育てていくことにもつながっていくと思いますがいかがでしょうか。
- ・ 40 歳代男性：助け合いは大事だが、若い世代が余裕があるわけではない。ボランティア精神だけでは、**働き手＝若者が減りゆく中で、福祉の維持は困難**であると思う。

(11) 行政機関等への励ましなど

① 要望・意見

- ・ 65 歳～69 歳女性：**よい計画ができることを期待**しています。
- ・ 70 歳～74 歳女：**地域福祉等のより良い暮らしの為にとお世話になります。ありがとうございます。**
- ・ 70 歳～74 歳女性：**社協の存在は地域住民に寄り添い対応できる心強いサービスです**
- ・ 75 歳以上女性：**地域福祉等は大変ですが・・・ がんばって。**
- ・ 60 歳～64 歳女性：「地域福祉」を知って良い事だと思います。誰かが気にかけてくれる事は良い事です。**活動頑張って下さい。**
- ・ 75 歳以上女性：**地域包括支援センターの方が、親切にしてくださるので、有難いと思っています。うれしいです**
- ・ 65 歳～69 歳女性：ご苦労様です
- ・ 40 歳代女性：困ったことがあって、ほおつちよけんや障害者相談センター、病院で相談したことがあるが、そういう**組織や施設があつて相談できるのはとてもありがたいです。**
- ・ 60 歳～64 歳男性：なにかの時にはヨロシクお願いします。
- ・ 75 歳以上女性：いきいき百さい体操、老人会、町内会、共に良き指導者に恵まれ、楽しい活動がされている。この**秦地区はとても住みやすい良い町**であると、**いつも感謝している**。自分に出来ることを、ささやかであるがつづけてゆきたいと思っている。ありがとうございます。
- ・ 75 歳以上男性：このようなサービスがある事は、有りがたいことです。

- ・ 75 歳以上女性：後期高齢者健康診査，がん検診の受診を知らせていただいてありがとうございます。

(12) その他の意見など

① 要望・意見

- ・ 30 歳代女性：**保健や福祉は**，みんながどんな状況でも**平等に受けられるものであってもらいたい**。それに，気付ける社会的な制度や環境を整える必要がある。みんなが，助けてもらいたいでは，成り立たない。
- ・ 40 歳代女性：**回覧板の情報を電子化して欲しい。**
- ・ 20 歳代女性：**買い物難民**は，限界集落に限ってないと思います。高知市内でも，スーパーが近くに無ければ同じです。自分で行く困難があります。長く歩けない，頼む人がいない，タクシーを使うには金銭が裕福でない。**移動販売だけでは**，欲しいものがない時がある。**自分で選ぶ楽しみがない。**
- ・ 40 歳代女性：私の母親は，離婚後，一人で生活しています。家賃の要るところだと，安い県営住宅とかに住みたいようですが，申込みが出来ないようで，一人世帯の方が申込み出来るところは，津波とかがきたら，浸かってしまう危険なところの県営住宅しか住む事が出来ないようです。**もう少し一人世帯の方に支援して欲しい。**
- ・ **生活を理由に，離婚にふみ切れない女性たちの救済**をお願いします。
- ・ 50 歳代女性：買い過ぎた**食材や余分な物などを無償で提供できる場があれば嬉しい**です。
- ・ 65 歳～69 歳男性：地域に最も適合する施策のきめ細かな，**過剰でない実施があれば有難い**と考える。
- ・ 65 歳～69 歳女性：もっている**山林の保護を誰に相談していいかわからない**。空家として祖父母の家もあるが，**誰にどう相談していいかわからない**。又，守秘義務がきちんと守られるか心配。
- ・ 20 歳代女性：**本当にサービス，手助けが必要な人に届くと良いな**と思います。
- ・ 65 歳～69 歳女性：**職員の増員・予算の増額**。決してサービス低下，消滅等になってはならない！！。
- ・ 30 歳代女性：本件とは無関係かと思いますが，**こういった調査は地元企業に統括してほしい**と感じました。仮にこの件が電話口での調査であった場合，「東京・・・」と名乗られた時点でお断りしていたと思います。
- ・ 50 歳代女性：本当に**必要な方に必要な支援等が行き届く**，きめ細やかな**行政の目が重要**だと思います。支える側は余裕のある人ばかりではないので，**真に税金を有効活用していただけるシステム**の構築を望みます。
- ・ 70 歳～74 歳男性：一歩ふみだした**支援を（心のこもった）**
- ・ 60 歳～64 歳女性：引っ越しして来て思ったのですが，古いトイレが道路にある

家、使用してないかもですが、通るたびに、においがたまりません 虫とかも多くなるので、道に出ている木や草など古いトイレは、衛生的に良くないので直してもらいたいです。

- ・ 30 歳代女性：役所の窓口に行き、わざわざ手続きをしなくてはならないのではなく、病院にかかった際、**その場で案内があり、手続きできたり買い物先でそのままサービスが受けられたり**、という事が必要ではないかと思う。
- ・ 20 歳代：「福祉」の健常主義，能力主義を無くしてほしいです。**申請主義**(役所に向いて自分の置かれた状況を「正確に」「伝わるように」説明するのは当たり前，しかも自筆)や，「本当に困っていたら相談に来るはず(だからそんなに困っていない)」という**態度等は改めてほしい**です。病気や障害で行けなかったり，家から出られなかったり，情報にアクセスできなかったり，相談できる家庭環境になかったり，うまく伝えられなくて諦めてしまったり，差別や偏見で抑圧，排除され，周縁化され続けた無力感の蓄積のせいだったり，それぞれの事情があることはわかっているはずですが。人員不足の中進められているのは承知していますが，変えてほしいです。支援の際は一人一人違うということを念頭に置いてほしいです。1 人の方が，複数のラベル(属性)を持っていることはよくあることで，例えばうつ病でジェンダー／セクシャルマイノリティの方，障害がある刑余者，家族等からの暴力から逃れるために「ホームレス状態」となった方等がいたとします。それらの属性や状況は切り分けて考えられるものではなく，絡み合い，混ざり合い，相互作用しあっていて，誰 1 人として同じ経験をしていないはずなのです。だから支援の際はその人のいろんな面を見てほしいし，前に支援した誰かを重ねて，安易に「〇〇な人はこういうもの」とカテゴライズするのはやめてほしいです。ステレオタイプの強化にもつながってしまいます。「社会が生み出したギャップ」を少しでも埋めようと，福祉の支援があるのは大切なことだと思いますが，そもそも正さないといけないのは「健常主義，能力主義的な社会のあり方」でだったり，不平等な世の中だったり，様々な面で抑圧や排除を生んできた，社会が勝手に決めた「普通」「当たり前」の眼差し等なはずで，それらを正していくことでしか根本的な解決にはつながらないという認識がもっと共有されてほしいです。例えば，病気や障害の有無に関わらず，健康で文化的に暮らせる程の収入が保障される社会だったら？そもそも格差を生まない社会だったら？差別のない社会だったら？福祉の支え合いと同時に，そういう社会をつくっていくことがとても大切で，むしろそれが最終目標であるべきだと思います。もし，そういう「社会の歪み」をなくすことから目を逸らすような，課題を矮小化するような「地域の支え合い」なのであれば，それは社会の課題を「地域」に押し付け，責任転嫁しているように思えてなりません。そして，**個人的には**，アンケート用紙に書かれていた「**つながる，をあきらめない**」という言葉に**苦しさを覚えました**。社会が決めた「普通」「当たり前」から「外れている」とされ

て、周縁化されてきたものとして、「つながる」先に、自分のようなものに居場所はあるのだろうか」と諦めのような気持ちを感じました。

- ・10 歳代男性：住民の不安を一つ一つ解消していき、より良い街にしていく。
- ・65 歳～69 歳男性：私はあまり関与したくないが他の**弱い立場の人達に行政が支援するのは当然と思うし、助けてやってほしい**。
- ・70 歳～74 歳女性：高齢者でも仕事をしている人が多い中、その時間が持てない**休日にはゆっくり身体を休めたい**。又、休日にはストレス発散の福祉サービスがほしい。
- ・75 歳以上男性：問 32 のように名前は知っているが、**具体的にどのようなことをしているのか**。問 29 のように（ ）部分の例示があれば分かりやすいと思います。
- ・65 歳～69 歳女性：**行政支援をお願いします**。
- ・30 歳代女性：**のらねこが家によってきて困っている**。対処してほしい。近所の人がえさをあげている。
- ・65 歳～69 歳男性：①中央公園（特に北口やグリーンロード周辺）など**禁煙エリア**（ポイ捨て目立つ）**を設けて欲しい** ②**歩きタバコの禁止** ③**グリーンロードに公衆トイレを作って欲しい**（立ち小便が多い、屋台客など）。**新京橋プラザ周辺にも使えるトイレがない**。
- ・70 歳～74 歳男性：**社会福祉協議会、共同募金会の存在を各行政区域ごとに知ってもらう取組の強化が必要**。

② 苦情

- ・60 歳～64 歳女性：日常生活見ても**マナーが悪かったり、非常識は若者より高齢者が多い印象**がある。加齢による色々な衰えで仕方ないのかも知れないが、老害と言われる原因と思う。若者から教わる事(特にデジタル系)は多いし、新しい常識も知り、変に世代を意識せずにお互いを尊重する意識が無いと難しいと思う。
- ・65 歳～69 歳男性：**健康保険料や介護保険料が高過ぎ**。
- ・65 歳～69 歳女性：趣味を共有できると思い、**市民講座に参加したが、期待を大きく損なう内容で、勉強にもならなかった**ので、もう二度と行かないと思う。家庭菜園の話でしたが、今旬の牧野博士を腐したり、しょうもないワイ談に腹が立った。
- ・75 歳以上女性：**PTA は不要**。特にベルマーク活動。不要どころか悪。以上。
- ・30 歳代女性：**公共交通機関の路面電車も割高**で気軽には利用できない。
- ・70 歳～74 歳：まず**QRコード**（インターネットでの）**での回答が出来なかった**（QRコードが無効になっている）。
- ・40 歳代女性：**色々な保健、福祉のサービス**（何かしらの申請など）**が認定されて実行されるまでの時間がかかり過ぎ**だと思います。家族が難病申請しましたが、実際に制度が適用されるまでは高額な医療費がかかっています。もっとスピーディにできな

いものでしょうか。

- ・ 75 歳以上：**こんなの聞く前に色々考えて動いてください。**税金泥棒ですか？聞いたことをすぐ形にして実践出来もしないのにあやかしいです。
- ・ 70 歳～74 歳男性：福祉とは名ばかりでは？本当に**市役所含め地域福祉の方が活動してるかが解らない。**色々相談しても上に伝わってないのではないかと、物価も上昇の中、考えてもらいたいこと沢山ある。このアンケート結果どのような形で出るのか楽しみだね。
- ・ 50 歳代女性：**役に立っているのかも分らない。**何にいかされるのかも分らない。
- ・ 75 歳以上男性：**2つの病院に1人で行ったので拒否された。**一人暮らしの者は診察しないのですか。看護師（婦）笑っていた人がいた。
- ・ 40 歳代女性：**道に穴があいている所が多く、長い間修理されていない。道路の道幅や歩道がせまい。**

③ 悩み・不安

- ・ 65 歳～69 歳男性：近くにスーパーが無く、**買い物に苦勞している老人が多い。**何とかならないだろうか…。
- ・ 50 歳代女性：今、相談したいことなどはないが、**漠然とした不安がある。**親の介護（入院等）で離職したため、自分の年金等、家の古さなど気になっているため。
- ・ 40 歳代女性：直面しないと存在を見過ごしてしまうサービスなので、**いざ必要な時相談できることも知らずに終わってしまいそうです。**
- ・ 60 歳～64 歳女性：**いざとなった時に関わっていただけるか不安**があります。
- ・ 70 歳～74 歳女性：**道路がデコボコ**で障害者や老人にとっては足もとが不安定で**怪我をしそうで怖い**です。
- ・ 60 歳～64 歳女性：住居のまわりは**買い物するのにとても不便**であり、歩くのもやっとなお年寄りが苦勞して買い物に出かけている姿をよく見かけます。そんな方々にはちゃんと福祉の助けが届いているのかと気になっています。
- ・ 30 歳代男性：**希望が持てない。**

④ その他の意見

- ・ 50 歳代女性：地域の助け合いはある方がいいが、**行政の福祉サービスがしっかり整備されたうえでのこと**だと思う。
- ・ 10 歳代男性：人との支え合いは素晴らしいものだと思いますが、**誰しも自分のことで精一杯**なところがあり、そして最も自分に対して精一杯であることがその人のためであると思います。より人との支え合いを強固にする方法を考えるとき、まず自身に余裕があるかを考え、そうでないなら自身に余裕を持てる環境づくりに尽力すべきだと思います。**自分自身も助け合いによって助けられるべき存在であることを忘れては**

いけないと思います。

- ・ 50 歳代男性：存在の効果があるのか不明。**何をやっているのかも認知されていないと思う。**そういったことが広く認知されれば、利用者も増えるのではないかな？そうなれば、逆に行政関連が大変になるのも見えてるが。だから、そこそこの認知でいいんですよね。
- ・ 75 歳以上女性：主人が要支援のサービスを受けておりケアマネージャーさんに色々相談して今のところ解決している。
- ・ 70 歳～74 歳女性：今の地域へ住んで 30 年以上たちますが、やはり近所が気持的に変わった人がいるので声かけもしなくなった家があり。（例）桜の木がのびて花が咲き出しました。すると夜家へきて桜の花ビラがちって、きたないから、木を切れと言ってきた。翌日祖母が根こそぎきりました・・・とても淋しかったです。
- ・ 75 歳以上男性：家族が介護が必要になった時の一番最初の窓口。
- ・ 70 歳～74 歳男性：辺りで何かあれば助け合いたいと思うが、今、何かをするという事は、考えていない。**他人の顔をうかがうのは、イヤだ。**
- ・ 75 歳以上女性：いきいき百才体操ごみ拾いなど参加できる方は参加したらいいと思う。地域の活動やボランティア活動などは、いざ参加しようとする面倒に感じて二の足を踏みがちですが、これは必要な行動であると考えて参加して行こうと思っています。実際参加してみると参加してよかった、楽しかったと思えるのです。
- ・ 75 歳以上女性：今現在主人が介護 3 で福祉にはお世話になっております。
- ・ 65 歳～69 歳男性：介護保険。
- ・ 30 歳代女性：何があるのかわからない。自分が必要になったときに調べるしかないのかなと思う。
- ・ 75 歳以上男性：地域って何？ 個人情報だから関係ないと言う人達が居たらどう？地域って名ばかりで結局自己中心、これが一番問題！。
- ・ 75 歳以上女性：1 級に寄る身体障害者につき何も出来ません。
- ・ 20 歳代女性：地域で仲良くというのわからないが、1 日が仕事や家事で終る中せつかくの休日もこれらの地域活動にさかれるのは理解はできないなあと思います。少なくとも余裕はないです。時間が無い。
- ・ 50 歳代女性：今のところ直面していないので介護、福祉などに無関心なところがあり、両親に何かあった時のことなど今から考えていく必要はあると感じる。**このアンケートでいかに何も感じてないか知ることができました。**
- ・ 70 歳～74 歳女性：もう少し情報を交換出来る地域であつたら…と思いますが、みなさまプライドがおありであるようで…！ますます地域交流は変わっていくと思います。これも時代の流れ、人が変わってってしまうのでしょうか。悲しい事ですが、少しでもお互いにやさしさを持てる社会でありますようがんばりたいですね。
- ・ 75 歳以上女性：超高齢になり 50 年近く続けてきた趣味も止め、今は子供に迷惑か

けない生活を続けたいと思っています。朝早く散歩はしていますが、デイサービスの「運動」に参加させてもらいたいと考えています。

- ・75 歳以上女性：どこに誰がすんでいるのか知らない人が多いのではないのでしょうか？。
- ・70 歳～74 歳女性：地域でも高齢者が増えて来ているので互いに声掛けが必要ではないと思います。どのように向かい合って行けば良いのか学びながら地域の方と学びたいと思います。少しづつでも参加して、皆さんと学びたい気持です。 私でも出来るかな？。
- ・70 歳～74 歳女性：今は月 2 回医師と看護師の訪問と後は入浴火木に男の看護師と女性の看護師が来てくれて、次男が助けてくれるので自分も 72 才ですが車の運転もできて、不自由は体のみで他はない。人に余り頼らないという性格で今まで 1 人でやってきています。29 年楽しい介護生活です。手伝いもしてくれ問題はありません。
- ・75 歳以上女性：大腿骨骨折、次の年リウマチ発病、とても人様のお世話は出来ません。デイサービスを受けている自分としては前向きで毎日を過すことが最上の毎日です。
- ・50 歳代男性：子供達は外で遊べばうるさいと言われ行き場がなく可哀そうに思う。
- ・65 歳～69 歳男性：オレの生き方。
- ・20 歳代女性：障害のある人が生き生き暮らせるようにできることをしたい。
- ・70 歳～74 歳女性：コロナ以降町内会活動がほとんどなく、また皆さん日々の生活に追われて顔を合わすことがほとんどない。自分自身も高齢化しており、まだ動けるうちに何らかの役には立ちたいと思っている。
- ・50 歳代男性：サービスを受ける側の多様化で、サービス・地域福祉が細くなり過ぎていないか。広報誌など情報がありすぎないか シンプルに対応できる社会構築に関わっていききたい。
- ・75 歳以上女性：自分が居る村は、また自分は半年の間に主人、長男と二人も亡くして、今は淋しい気持ちです。昨年 12 月から部落で 6 人も病気とかでとっても淋しい村です。テレビで昨日高知は生れる赤ちゃんも少ないとか聞きました。今は若い人がいろいろと働いてくれて県外からも中央へは来てるみたいですがコロナからは、とりやめになった事がたくさんありこれから村もどこもまた楽しい村になるようにがんばります。
- ・60 歳～64 歳女性：自分はインターネットを 2000 年から使っているため、交流にも必要な事の検索も、セキュリティも問題なく生活している。アフターコロナではなく、ウィズコロナになって世界はかわったと思う。保健や交流の安全等も感染に弱い人が対象になることを踏まえた、柔軟んな対応を願う。集まった場所でクラスターが起きた場合の責任の明確化も必要だと思う。また、良い人ばかりでもなく、

合うあわないもあり，逃げ場のないということのないように。

地域福祉に関するアンケート調査 ご協力をお願い

あなたは、困っている人がいたらどうしますか？
ほおच्छよく？ それとも ほおच्छよけん？



人と人との関係が希薄化してきたといわれている現代社会ですが、高知市は「つながる、をあきらめない。」みんなでみんなを支え合う社会「高知市型共生社会」を目指しています。

このような社会を実現するためには、市役所だけで考えるのではなく、まず、市民の皆様の生活の状況や思いを知ることが大切だと考えています。

多くの方に回答いただくことが、より良い取組につながります。

どうかご協力をお願いいたします。

令和5年9月 高知市

※ 本調査は第3期高知市地域福祉活動推進計画策定の基礎資料とするために実施するものです。

本調査は、高知市に在住する16歳以上の方から無作為に選ばれた3,000人を対象に実施しています。調査では個人が特定できるような情報は収集いたしません。また結果は、調査の目的以外に使用することはありません。

ご回答いただくにあたってのお願い

- ・ お送りした封筒の宛て名の方がお答えください。病気や障害などでご本人がご記入になれない場合は、ご家族の方などがご本人の意見に基づいてご記入くださいますようお願いいたします。
- ・ 答えにくい問いがある場合は、お答えいただける問いだけにご回答ください。
- ・ それぞれの問いについて、あてはまる選択肢に○を付けてください。「その他」を選ばれた場合は、具体的な内容を括弧の中にお書きください。
- ・ お答えいただきました調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに **10月24日（火）まで**に郵便ポストに投函してください。
- ・ インターネットで回答いただくことも可能です。詳しくは、別紙をご覧ください。

調査業務は委託して実施しています。調査に関するお問い合わせはこちらへお願いします。

株式会社東京商工リサーチ高知支店 電話 088-822-0016

受付時間 9:00~17:00（土・日・祝日を含む）

【調査実施者】高知市健康福祉部 地域共生社会推進課

電話 088-821-6513 メール kc-111200@city.kochi.lg.jp

地域福祉に関するアンケート調査票

問 1 あなたの性別について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1) 男性 |
| 2) 女性 |
| 3) その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない） |

問 2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|--------------|
| 1) 10 歳代 | 4) 40 歳代 | 7) 65 歳～69 歳 |
| 2) 20 歳代 | 5) 50 歳代 | 8) 70 歳～74 歳 |
| 3) 30 歳代 | 6) 60 歳～64 歳 | 9) 75 歳以上 |

問 3 あなたのお住まいの地域について、あてはまるもの1つに○をつけてください。
(地区名と住所の対応表を右ページに記載しています)

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1) 上街 | 10) 三里 | 19) 長浜 |
| 2) 高知街 | 11) 五台山 | 20) 御畳瀬 |
| 3) 南街 | 12) 高須 | 21) 浦戸 |
| 4) 北街 | 13) 布師田 | 22) 大津 |
| 5) 下知 | 14) 一宮 | 23) 介良 |
| 6) 江ノ口 | 15) 秦 | 24) 鏡 |
| 7) 小高坂 | 16) 初月 | 25) 土佐山 |
| 8) 旭街 | 17) 朝倉 | 26) 春野 |
| 9) 潮江 | 18) 鴨田 | |

問 4 あなたの現在の仕事について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1) 正規の職員・従業員 |
| 2) 非正規の職員・従業員
(派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト (学生アルバイトを除く)) |
| 3) 会社などの役員 |
| 4) 自営業主 |
| 5) 家族従事者・内職 |
| 6) 学生・生徒 |
| 7) 収入をともなう仕事をしていない (仕事を探している) |
| 8) 収入をともなう仕事をしていない (仕事を探していない) |
| 9) その他 () |

<地区名・住所対応表>

1) 上 街	6) 江ノ口	8) 旭 街	12) 高 須	16) 初 月	22) 大 津
上町1～5丁目	寿町	塚ノ原	高須	みづき山	大津甲
本丁筋	中水道	西塚ノ原	葛島1～4丁目	17) 朝 倉	大津乙
水通町	幸町	長尾山町	高須新町1～4丁目	朝倉甲	23) 介 良
通町	伊勢崎町	旭天神町	高須砂地	朝倉乙	介良甲
2) 高知街	相模町	佐々木町	高須本町	朝倉丙	介良乙
唐人町	吉田町	北端町	高須新木	朝倉丁	介良丙
与力町	愛宕町1～4丁目	山手町	高須1～3丁目	朝倉戊	介良
鷹匠町1～2丁目	大川筋1～2丁目	横内	高須東町	朝倉己	潮見台1～3丁目
本町1～5丁目	駅前町	口細山	高須西町	宗安寺	24) 鏡
升形	相生町	尾立	高須絶海	行川	鏡大河内
帯屋町1～2丁目	江陽町	蓮台	高須大谷	針原	鏡小浜
追手筋1～2丁目	北本町1～4丁目	福井町	高須大島	上里	鏡大利
廿代町	新本町1～2丁目	福井扇町	13) 布師田	領家	鏡今井
永国寺町	昭和町	福井東町	布師田	唐岩	鏡草峰
丸ノ内1～2丁目	和泉町	9) 潮 江	14) 一 宮	曙町1～2丁目	鏡白岩
3) 南 街	塩田町	土居町	一宮	朝倉本町1～2丁目	鏡狩山
中の島	比島町1～4丁目	役知町	薊野	若草町	鏡吉原
九反田	栄田町1～3丁目	潮新町1～2丁目	重倉	若草南町	鏡の淵
菜園場町	7) 小高坂	仲田町	久礼野	鶴来集	鏡去坂
農人町	井口町	北新田町	薊野西町1～3丁目	槇山町	鏡竹奈路
城見町	平和町	新田町	薊野北町1～4丁目	針木東町	鏡敷ノ山
堺町	三ノ丸	南新田町	薊野東町	大谷公園町	鏡柿ノ又
南はりまや町1～2丁目	宮前町	梅ノ辻	薊野中町	朝倉南町	鏡横矢
弘化台	西町	棧橋通1～6丁目	薊野南町	朝倉横町	鏡増原
4) 北 街	大膳町	天神町	一宮西町1～4丁目	朝倉東町	鏡葛山
桜井町1～2丁目	山ノ端町	筆山町	一宮しなね1～2丁目	朝倉西町1～2丁目	鏡梅ノ木
はりまや町1～3丁目	桜馬場	塩屋崎町1～2丁目	一宮南町1～2丁目	針木北1～2丁目	鏡小山
5) 下 知	城北町	百石町1～4丁目	一宮中町1～3丁目	針木本町	25) 土佐山
宝永町	北八反町	南ノ丸町	一宮東町1～5丁目	針木南	土佐山菖蒲
弥生町	宝町	南竹島町	一宮徳谷	針木西	土佐山西川
丸池町	小津町	竹島町	15) 秦	18) 鴨 田	土佐山梶谷
小倉町	越前町1～2丁目	北竹島町	愛宕山	鴨部	土佐山
東雲町	新屋敷1～2丁目	北高見町	前里	神田	土佐山高川
日の出町	八反町1～2丁目	高見町	東秦泉寺	鴨部高町	土佐山桑尾
知寄町1～3丁目	8) 旭 街	六泉寺町	中秦泉寺	鴨部上町	土佐山都網
青柳町	東城山町	孕東町	三園町	鴨部1～3丁目	土佐山弘瀬
稻荷町	城山町	孕西町	西秦泉寺	19) 長 浜	土佐山東川
若松町	東石立町	深谷町	北秦泉寺	長浜	土佐山中切
高橋	石立町	南中山	宇津野	横浜	26) 春 野
杉井流	玉水町	北中山	三谷	瀬戸	春野町弘岡上
北金田	縄手町	幸崎	七ツ淵	瀬戸西町1～3丁目	春野町弘岡中
南金田	鏡川町	小石木町	加賀野井1～2丁目	瀬戸東町1～3丁目	春野町弘岡下
札場	下島町	大原町	愛宕山南町	長浜宮田	春野町西分
南御座	旭町1～3丁目	河ノ瀬町	秦南町1～2丁目	横浜新町1～5丁目	春野町芳原
北御座	赤石町	南河ノ瀬町	16) 初 月	横浜西町	春野町内ノ谷
南川添	中須賀町	萩町1～2丁目	東久万	横浜東町	春野町西諸木
北川添	旭駅前町	10) 三 里	中久万	瀬戸1～2丁目	春野町東諸木
北久保	元町	池	西久万	瀬戸南町1～2丁目	春野町秋山
南久保	南元町	仁井田	南久万	横浜南町	春野町甲殿
海老ノ丸	旭上町	種崎	万々	長浜蔭絵台1～2丁目	春野町仁ノ
中宝永町	水源町	十津1～6丁目	中万々	20) 御畳瀬	春野町西畑
南宝永町	本宮町	11) 五台山	南万々	御畳瀬	春野町森山
二葉町	上本宮町	吸江	柴巻	21) 浦 戸	春野町平和
6) 江ノ口	大谷	五台山	円行寺	浦戸	春野町南ヶ丘1～9丁目
入明町	岩ヶ淵	屋頭	一ツ橋町1～2丁目		
洞ヶ島町	鳥越		みづき1～3丁目		

問 5 あなたは現在のところに住んで何年になりますか。あてはまるもの 1 つに〇 をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1) 1 年未満 | 4) 10～15 年未満 |
| 2) 1～5 年未満 | 5) 15～20 年未満 |
| 3) 5～10 年未満 | 6) 20 年以上 |

問 6 あなたの現在のお住まい（住居）はどれにあてはまりますか。あてはまるもの 1 つに〇 をつけてください。

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1) 持ち家（一戸建て） | 5) 公営住宅 |
| 2) 持ち家（マンションなどの集合住宅） | 6) 社宅 |
| 3) 民間賃貸住宅（一戸建て） | 7) その他（ ） |
| 4) 民間賃貸住宅（マンションやアパートなどの集合住宅） | |

問 7 あなたの世帯（同居人含む）で、あてはまるもの 1 つに〇 をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1) 単身 | 4) 二世帯同居（親と同居） |
| 2) 夫婦のみの世帯 | 5) 三世帯同居 |
| 3) 二世帯同居（子と同居） | 6) その他の世帯 |

問 8 あなた自身も含めた、同居する家族について、あてはまるもの すべてに〇 をつけてください。お一人の方にあてはまるものが複数の場合もあります。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1) 高校生以下の子どもがいる | 4) 障害のある方がいる |
| 2) 65 歳以上の方がいる | 5) いずれもない |
| 3) 介護を必要とする方がいる | |

問 9 あなたの現在の経済的な暮らし向きを、どう感じていますか。あてはまるもの 1 つに〇 をつけてください。

- | | |
|-------------|----------|
| 1) 大変ゆとりがある | 4) やや苦しい |
| 2) ややゆとりがある | 5) 大変苦しい |
| 3) 普通 | |

問 10 あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。あてはまるもの 1 つに〇 をつけてください。

- | | |
|-----------|---------|
| 1) 決してない | 3) 時々ある |
| 2) ほとんどない | 4) 常にある |

問 15 問 14 で 1) ~19) のいずれかに○を付けた（経験した出来事がある）方へお聞きします。現在の孤独感（問 13 で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。問 14 で選択した回答のうち、影響の強い順番に下記の枠内に3 つまで番号を記入してください。（番号は 3 つまで）

- | | | |
|-----------|---|---|
| 1 番強い影響 | 【 | 】 |
| 2 番めに強い影響 | 【 | 】 |
| 3 番めに強い影響 | 【 | 】 |

【再び、全員の方へお聞きします】

問 16 あなたはご近所の方々とどの程度のお付き合いをしていますか。あてはまるもの1 つに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1) 何か困ったときに助け合えるような付き合いである |
| 2) お互いに家を行き来したり、楽しく話をする付き合いである |
| 3) 立ち話をする程度 |
| 4) 挨拶をする程度 |
| 5) ほとんど付き合いはない |
| 6) 近所にどんな人が住んでいるか知らない |

問 17 あなたは「生活の困りごと」に対し、住民が支え合い、助け合う関係が必要だと思いませんか。あてはまるもの1 つに○をつけてください。

「生活の困りごと」とは

電球の交換や庭の掃除、ゴミ出しができないなどの暮らしの中でのちょっとした困りごと
も含みます。

- | | |
|------------|--------------|
| 1) 必要だと思う | 3) 必要だとは思わない |
| 2) あった方がよい | 4) 分からない |

問 18 あなたのお住まいの地域では、お互いに助け合いができていると思いませんか。あてはまるもの1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1) 大変そう思う | 4) そう思わない |
| 2) そう思う | 5) 分からない |
| 3) あまりそう思わない | |

問 19 あなたは、近所で「生活の困りごと」の支援を必要としている人がいたら、その人を支援することについてどう思いますか。あなたの考えに近いもの1つに○をつけてください。

- 1) 自分のできる範囲での支援はしたい
- 2) 誰かと一緒にあれば支援したい（できる）
- 3) 誰かに頼まれれば支援したい（できる）
- 4) 本人から「助けて」と言われれば支援できる
- 5) 支援の方法や手段が分からない
- 6) 自分自身に余裕がなく誰かを支援できない
- 7) 関わりたくない
- 8) その他（

問 20 あなたの近所の人が、「生活の困りごと」で手助けが必要になった時、どんなことであれば手助けできますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 看病や介護の支援
- 2) 子どもの世話
- 3) 健康・介護・育児に関する相談対応
- 4) 話し相手・愚痴聞き
- 5) ゴミ出し・ちょっとした家事援助
- 6) 経済的なことの相談対応
- 7) 災害時の手助け
- 8) 見守り・声かけ
- 9) 手助けはできない
- 10) その他 ()

問 21 あなた自身は、ふだんの暮らしの中でどのような困りごと（不安や悩みを含む）がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 自分の健康に関する事
- 2) 家族の健康に関する事
- 3) 介護に関する事
- 4) 仕事に関する事
- 5) 学校生活・進学に関する事
- 6) 近所付き合いに関する事
- 7) 生きがい・将来に関する事
- 8) 住まいに関する事
- 9) 収入や家計に関する事
- 10) 子どもに関する事
- 11) 災害に関する事
- 12) 生活のちょっとした困りごと
(例：電球の交換や庭の掃除
ゴミ出しができないなど)
- 13) その他 ()
- 14) 特になし

問 22 あなたは、困りごと（不安や悩みを含む）があるとき、誰に相談していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 家族や親族
- 2) 知人・友人
- 3) 近所の人
- 4) 自治会・町内会
- 5) 民生委員・児童委員
- 6) 社会福祉協議会
- 7) 行政（市役所など）
- 8) 医療機関
- 9) 学校・幼稚園・保育園
- 10) NPO等の民間団体・ボランティア団体
- 11) 相談相手がいない
- 12) 相談窓口を知らない
- 13) その他（ ）

問 23 高知市が設置している生活に関する相談窓口で知っているものすべてに○をつけてください。

- 1) 地域包括支援センター
- 2) 子育て世代包括支援センター
- 3) 障害者相談センター
- 4) 生活支援相談センター
- 5) 成年後見サポートセンター
- 6) 市民会館
- 7) 情報公開・市民相談センター
- 8) 消費生活センター
- 9) ほおっちょけん相談窓口
- 10) いずれも知らない

問 24 あなたのお住まいの地域では、どのような問題があると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 高齢者に関すること
- 2) 子どもに関すること
- 3) 障害のある人に関すること
- 4) 地域のつながりに関すること
- 5) 地域の防犯・防災に関すること
- 6) 経済的に困っている人がいること
- 7) 地域の中で孤立している人がいること（ひきこもり、ごみ屋敷、孤独死 等）
- 8) 特に問題と感じていることはない
- 9) 分からない
- 10) その他（ ）

問 25 あなたは地域の活動やボランティア活動へ参加していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1) 参加している⇒問 26・27 へ
- 2) 現在は参加していないが、参加したことがある⇒問 26・27 へ
- 3) 参加していない⇒問 28 へ

問 26 問 25 で「1 参加している」又は「2 現在は参加していないが、参加したことがある」と答えた方にお聞きします。その活動は具体的にどういった内容ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 高齢者支援の活動（サロン・認知症カフェ・いきいき百歳体操・見守り等）
- 2) 子育て支援の活動（子育てサロン・子ども食堂・見守り等）
- 3) 障害者支援の活動（朗読・手話・点字・スポーツボランティア・見守り等）
- 4) 防災に関する活動
- 5) 災害援助などの活動
- 6) 趣味や特技を生かした活動
- 7) ごみ拾いなど環境美化に関する活動
- 8) イベント・行事などの支援活動
- 9) 地域おこしに関する活動
- 10) 町内会活動
- 11) 子ども会・PTA活動
- 12) その他（ ）

問 27 問 25 で「1 参加している」又は「2 現在は参加していないが、参加したことがある」と答えた方にお聞きします。活動に参加したきっかけは何ですか。あてはまるもの3つ以内に○をつけてください。

- 1) 自分たちのために必要な活動だから
- 2) 人の役に立ちたいから
- 3) 誰かに誘われたから
- 4) 付き合いのためやむを得ず
- 5) 趣味や特技を生かしたいから
- 6) 楽しそうだから
- 7) 学校の授業などで機会があったから
- 8) 余暇を有効に活用したいから
- 9) 困っている人や団体から頼まれたから
- 10) その他（ ）
- 11) なんとなく

【再び、全員の方へお聞きします】

問 28 あなたは今後、地域の活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。
もっともあてはまるもの 1つに ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1) 現在している活動を継続したい⇒問 31 へ | |
| 2) 機会があれば、ぜひ参加したい | } ⇒問 29 へ |
| 3) 友人などが一緒なら参加したい | |
| 4) 時間ができたら参加したい | |
| 5) 学習の機会があったら参加したい | |
| 6) 参加したい気持ちはあるが、参加できない⇒問 30 へ | |
| 7) 参加したくない⇒問 31 へ | |

問 29 問 28 で 2) ～ 5) のいずれかに ○ を付けた (今後、地域の活動やボランティア活動に参加したいと答えた) 方にお聞きします。今後、参加してみたい活動は具体的にどういった内容ですか。興味のあるもの 3 つ以内に ○ をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1) 高齢者支援の活動 (サロン・認知症カフェ・いきいき百歳体操・見守り等) | |
| 2) 子育て支援の活動 (子育てサロン・子ども食堂・見守り等) | |
| 3) 障害者支援の活動 (朗読・手話・点字・スポーツボランティア・見守り等) | |
| 4) 防災に関する活動 | |
| 5) 災害援助などの活動 | |
| 6) 趣味や特技を生かした活動 | |
| 7) ごみ拾いなど環境美化に関する活動 | |
| 8) イベント・行事などの支援活動 | |
| 9) 地域おこしに関する活動 | |
| 10) 町内会活動 | |
| 11) 子ども会・PTA活動 | |
| 12) その他 () | |

問 30 問 28 で「6 参加したい気持ちはあるが、参加できない」と答えた方にお聞きします。地域の活動やボランティア活動への参加の妨げになっていることは何ですか。次の中からあてはまるもの 3 つ以内に ○ をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--|
| 1) 活動に関する十分な情報がない | |
| 2) 参加する際の経費 (交通費等) の負担 | |
| 3) 参加しても実際に役に立っていないと思えない | |
| 4) 参加を受け入れる団体等に不信感がある | |
| 5) 参加するための手続きが分かりにくい | |
| 6) 興味の持てる活動がない | |
| 7) 高齢・障害・病気などのため | |
| 8) その他 () | |

【再び、全員の方へお聞きします】

問 31 あなたは、地域にどんな集いの場があれば参加したいと思いますか。あてはまるもの3つ以内に○をつけてください。

- 1) 高齢者が集える場
- 2) 子育て世代が集える場
- 3) 障害のある人が集える場
- 4) 多世代交流のできる集いの場
- 5) 介護について相談できる集いの場
- 6) 食を通じた交流の場
- 7) 子ども食堂
- 8) 趣味活動など余暇を楽しめる集いの場
- 9) 生活のちょっとしたことを気軽に相談できる場
- 10) 地域の課題解決に向けた話し合いの場
- 11) その他 ()
- 12) 参加したくない

問 32 地域福祉を推進し、住民主体の地域福祉活動のお手伝いをする団体に、「高知市社会福祉協議会」があります。あなたはこの組織を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「地域福祉」とは

地域福祉とは、誰もが直面する可能性のある生活上のさまざまな困りごとを、地域のつながりや公的サービスを適切に組み合わせることによって解決し、「住み慣れた地域で、その人らしく、安心して暮らせる社会」を創りだす取組のことをいいます。

- 1) 名前も活動の内容もよく知っている
- 2) 名前は知っており、活動内容も少しは知っている
- 3) 名前は知っているが、活動内容は知らない
- 4) 名前も活動内容も知らない

問 33 保健や福祉のサービス、地域福祉のあり方などについて、自由に意見をお書きください。



ご協力ありがとうございました。